
II-3 単身および子どものいない世帯の調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

区内に居住する単身および子どものいない世帯の一般区民に対してアンケートを行うことにより、生活実態、結婚や子育て等に関する意見などを把握し、「練馬区子ども・子育て支援事業計画」を策定するうえでの基礎資料とします。

(2) 調査内容

- ①調査票記入者の状況について
- ②家族および生活について
- ③現在の不安、結婚について
- ④子育てや結婚について
- ⑤労働・社会保険等による支援の周知状況について
- ⑥地域交流について
- ⑦少子社会に対する考え方について
- ⑧行政サービスへの要望について

(3) 調査仕様

- ①調査地域 区全域
- ②調査対象 区内に居住する単身および子どものいない世帯
- ③標本数 500 件
- ④抽出方法 住民基本台帳から調査対象の条件をかけて抽出
- ⑤調査方法 郵送配布・郵送回収
- ⑥調査期間 平成 25 年 10 月 23 日～11 月 5 日

(4) 回収数・回収率

141 件 有効回答率=28.2%

(5) 本報告書における調査結果の見方

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています（無回答および有効回答数が10未満を除く）。

○居住地区について

調査結果の「居住地区」は、総合福祉事務所管轄で区分しています。

地区	町名
練馬	旭丘、向山、小竹町、栄町、桜台、豊玉上、豊玉北、豊玉中、豊玉南、中村、中村北、中村南、貫井、練馬、羽沢
光が丘	春日町、高松、田柄、光が丘、旭町、土支田、錦、氷川台、平和台、早宮、北町
石神井	富士見台、谷原、高野台、南田中、下石神井、石神井町、三原台、上石神井、上石神井南町、石神井台、関町東、関町北、関町南、立野町
大泉	大泉学園町、大泉町、西大泉、西大泉町、東大泉、南大泉

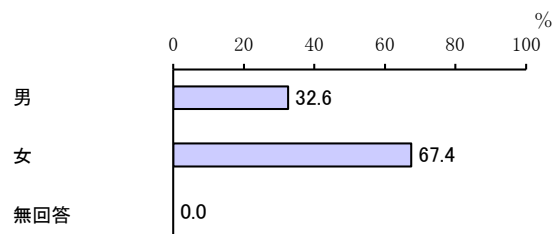
2. 調査結果

(1) 調査票記入者の状況について

F 1 あなたは、次のどれに当てはまりますか。(それぞれ○は1つ)

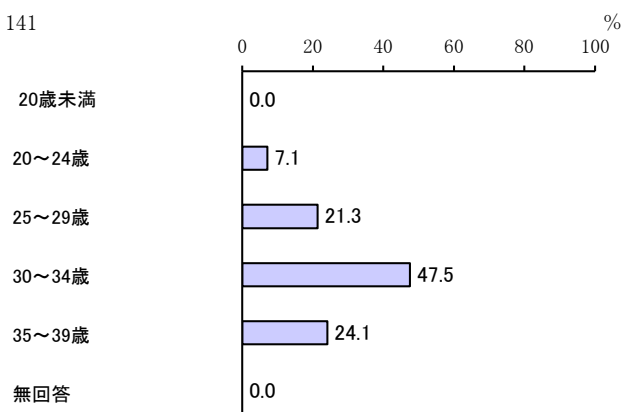
①性別

「女」の割合が 67.4%、「男」の割合が 32.6%となっています。 N = 141



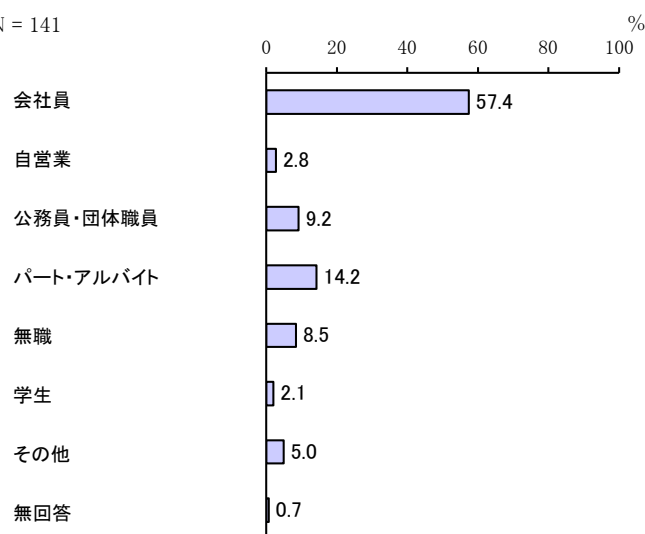
②年齢

「30～34 歳」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「35～39 歳」の割合が 24.1%、「25～29 歳」の割合が 21.3%となっています。 N = 141



③職業

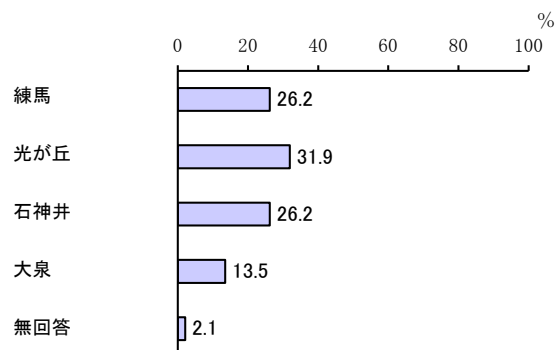
「会社員」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が 14.2%、「公務員・団体職員」の割合が 9.2%となっています。 N = 141



F 2 あなたのお住まいの町名を書いてください。

「光が丘」の割合が 31.9%、「練馬」「石神井」の割合が 26.2%、「大泉」の割合が 13.5%となっています。

N = 141

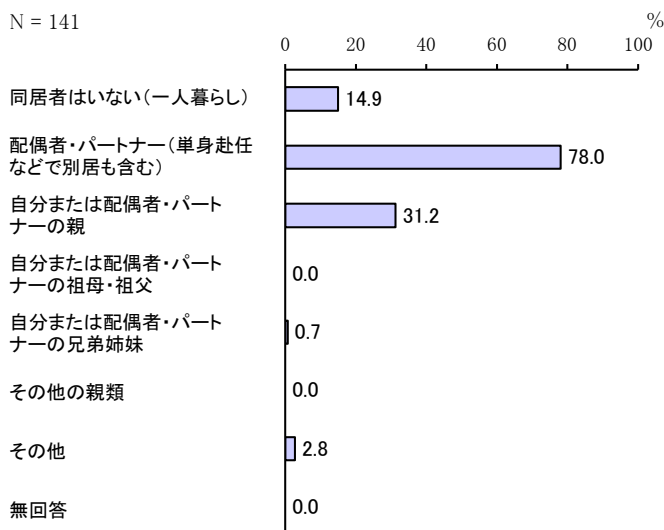


(2) 家族および生活について

問1 同居されている方はどなたですか。あなたを中心にお答えください。(○はいくつでも、また、()の中に数字を記入)

「配偶者・パートナー(単身赴任などで別居も含む)」の割合が 78.0%と最も高く、次いで「自分または配偶者・パートナーの親」の割合が 31.2%、「同居者はいない(一人暮らし)」の割合が 14.9%となっています。

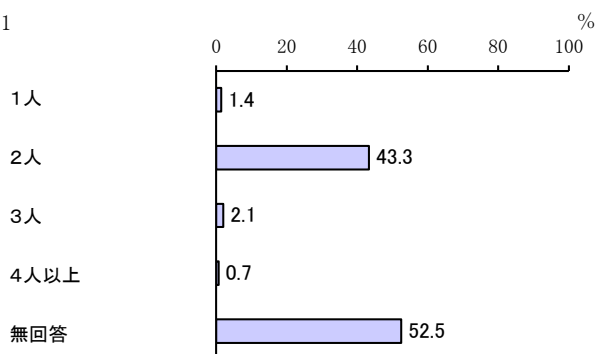
N = 141



【家族の人数】

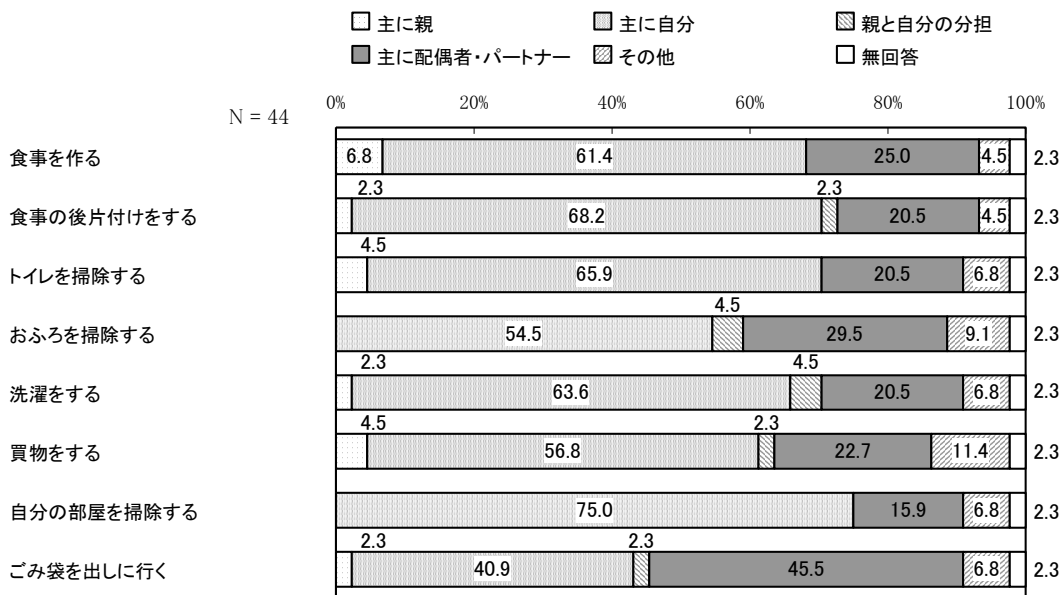
「2人」の割合が 43.3%と最も高くなっています。

N = 141



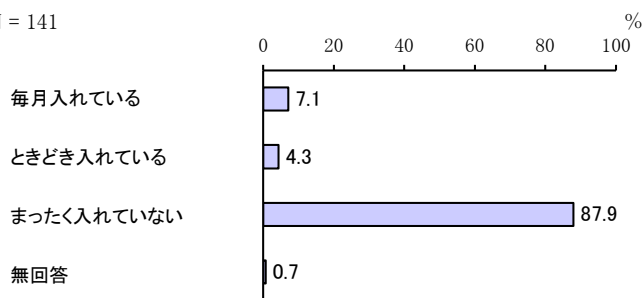
問1-1 問1で「3. 自分または配偶者・パートナーの親」と答えた方へ、次のようなことについて、家庭内では誰がしていますか。(それぞれ○は1つ)

「ゴミ袋を出しに行く」で「主に配偶者・パートナー」の割合が、4割以上と高くなっています。



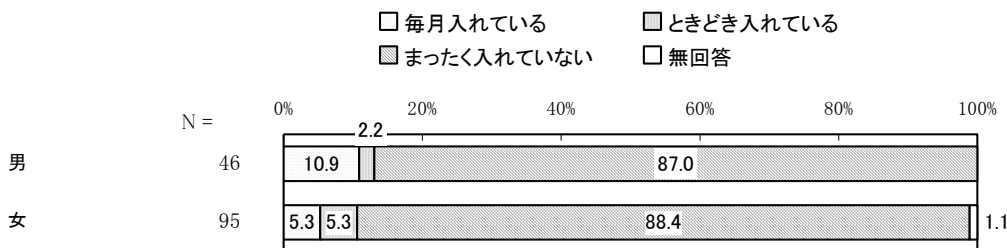
問2 あなたは、親へ生活費（仕送り）を入れていますか。(○は1つ)

「まったく入れていない」の割合が N = 141 87.9%と最も高くなっています。



[性別 親への仕送りの有無]

性別でみると、男性で「毎月入れている」の割合が、女性に比べて高くなっています。

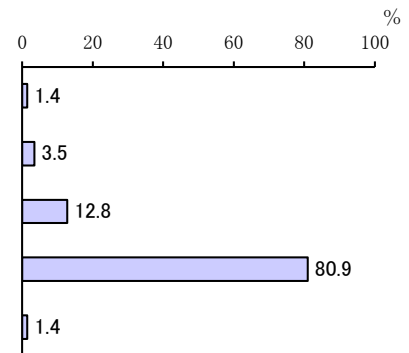


問3 あなたは、親から生活費の援助を受けていますか。(○は1つ)

「援助は受けていない」の割合が80.9%と最も高く、次いで「不定期に多少の援助を受けている」の割合が12.8%となっています。

N = 141

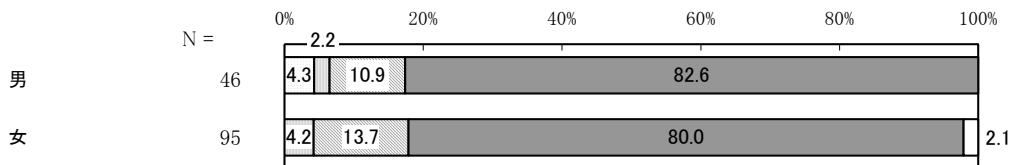
生活全般について援助を受けている
 定期的に住居費・食費など一部の援助を受けている
 不定期に多少の援助を受けている
 援助は受けていない
 無回答



[性別 親からの生活費の援助の有無]

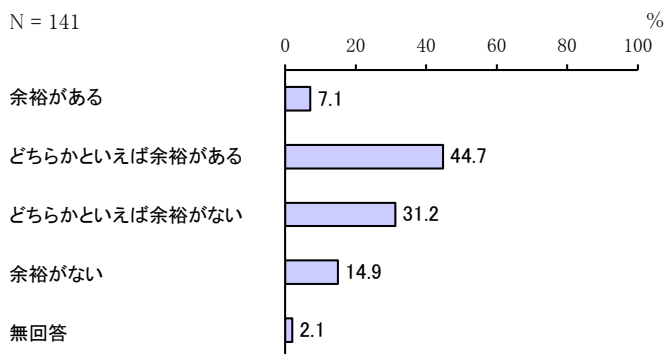
性別でみると、男性で「生活全般について援助を受けている」の割合が、女性に比べてやや高くなっています。

□ 生活全般について援助を受けている
 □ 定期的に住居費・食費など一部の援助を受けている
 □ 不定期に多少の援助を受けている
 ■ 援助は受けていない
 □ 無回答



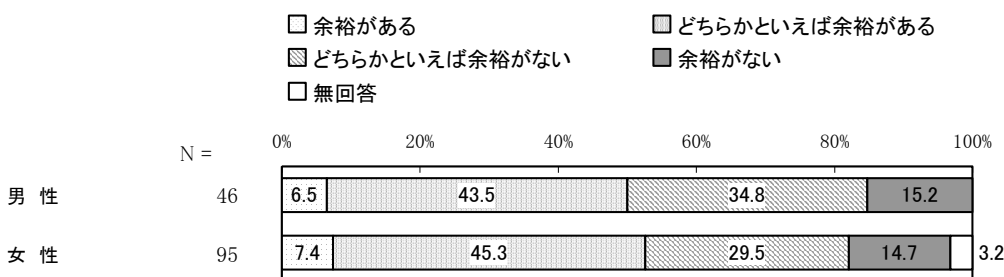
問4 今のあなたの生活は、経済的に余裕がありますか。(○は1つ)

「どちらかといえば余裕がある」の割合が44.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば余裕がない」の割合が31.2%、「余裕がない」の割合が14.9%となっています。



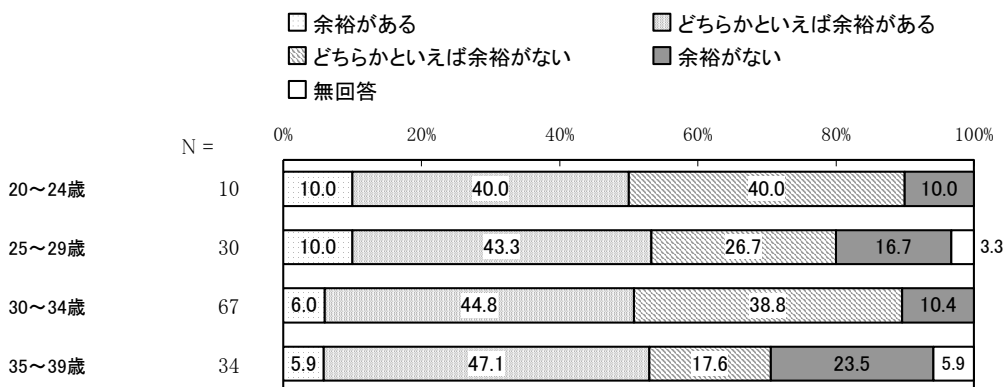
[性別 経済的余裕の有無]

性別でみると、男性で「どちらかといえば余裕がない」「余裕がない」を合わせた“余裕がない”人の割合が、女性に比べて高くなっています。



[年齢別 経済的余裕の有無]

年齢別でみると、年齢が上がるにつれ、「どちらかといえば余裕がある」と「余裕がない」の割合が高くなる傾向がみられます。

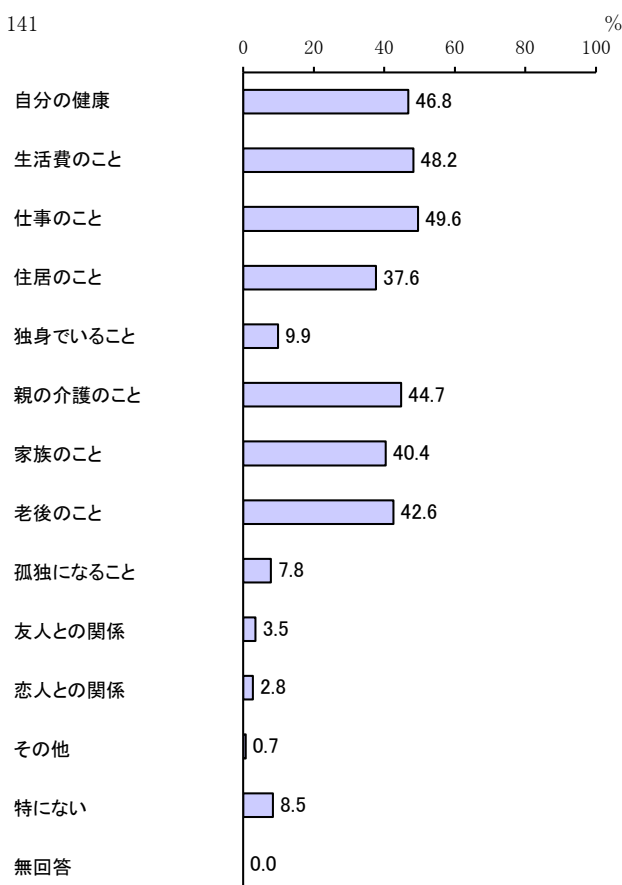


(3) 現在の不安、結婚について

問5 あなたは、将来への不安にはどんなものがありますか。(〇はいくつでも)

「仕事のこと」の割合が49.6%と最も高く、次いで「生活費のこと」の割合が48.2%、「自分の健康」の割合が46.8%となっています。

N = 141



[性別 将来への不安]

性別でみると、男性で「独身でいること」、女性で「親の介護のこと」「老後のこと」「住居のこと」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	自分の健康	生活費のこと	仕事のこと	住居のこと	独身でいること	親の介護のこと	家族のこと	老後のこと	孤独になること	友人との関係	恋人との関係	その他	特にない	無回答
男性	46	45.7	41.3	43.5	21.7	15.2	28.3	41.3	23.9	6.5	2.2	4.3	-	23.9	-
女性	95	47.4	51.6	52.6	45.3	7.4	52.6	40.0	51.6	8.4	4.2	2.1	1.1	1.1	-

[年齢別 将来への不安]

年齢別でみると、30～34歳で「自分の健康」「老後のこと」の割合が、他の年齢に比べて高くなっています。また、年齢が下がるにつれ、「親の介護のこと」の割合が高くなっています。

単位：%

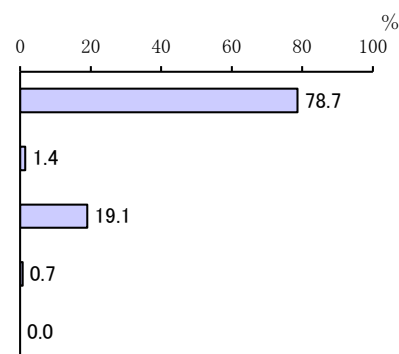
	有効回答数(件)	自分の健康	生活費のこと	仕事のこと	住居のこと	独身でいること	親の介護のこと	家族のこと	老後のこと	孤独になること	友人との関係	恋人との関係	その他	特にない	無回答
20～24歳	10	30.0	30.0	50.0	20.0	30.0	50.0	20.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-
25～29歳	30	46.7	53.3	56.7	40.0	16.7	46.7	60.0	33.3	10.0	6.7	6.7	-	-	-
30～34歳	67	55.2	53.7	49.3	43.3	3.0	46.3	43.3	49.3	6.0	4.5	-	-	7.5	-
35～39歳	34	35.3	38.2	44.1	29.4	11.8	38.2	23.5	44.1	11.8	-	5.9	2.9	14.7	-

問6 あなたは、結婚していますか。(○は1つ)

「結婚している(配偶者がいる)」の割合が78.7%と最も高く、次いで「結婚も同居もしていない」の割合が19.1%となっています。

N = 141

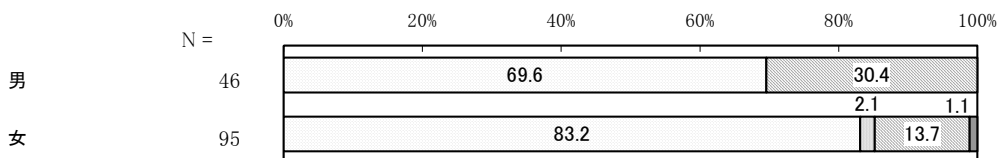
結婚している(配偶者がいる)
結婚していないが同居している(パートナーがいる)
結婚も同居もしていない
結婚したが、離別・死別した
無回答



[性別 結婚の状況]

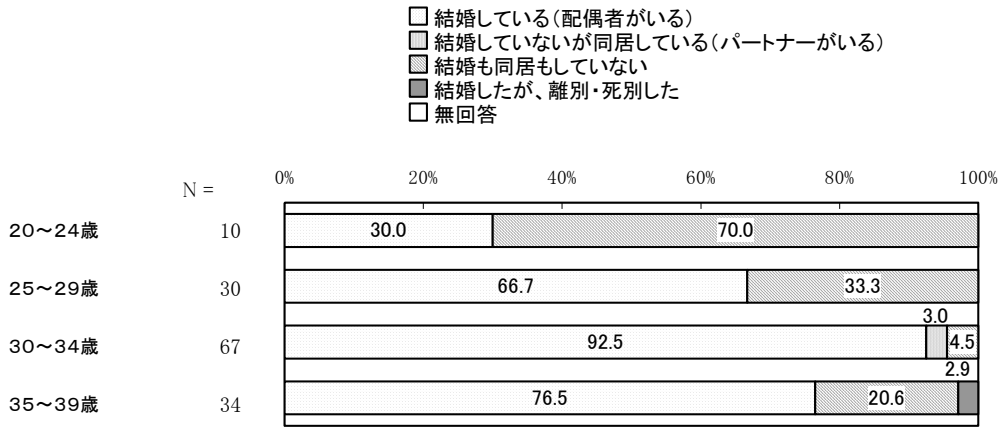
性別でみると、男性で「結婚も同居もしていない」の割合が、女性に比べて高くなっています。

- 結婚している(配偶者がいる)
- 結婚していないが同居している(パートナーがいる)
- 結婚も同居もしていない
- 結婚したが、離別・死別した
- 無回答



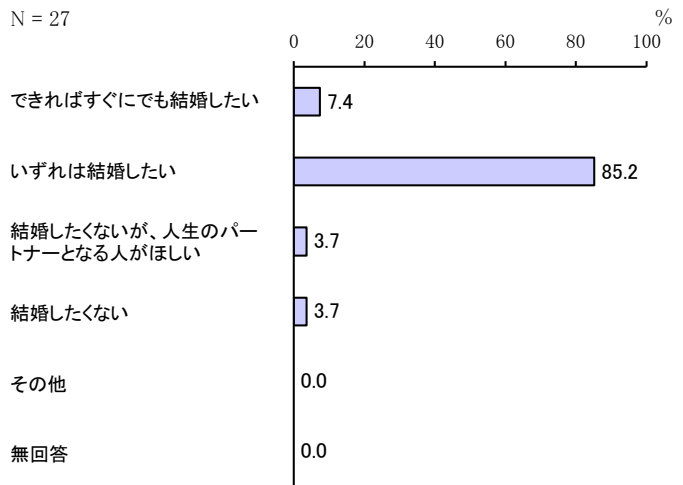
[年齢別 結婚の状況]

年齢別でみると、30～34歳で「結婚している（配偶者がいる）」の割合が、9割以上と他の年齢に比べて高くなっています。



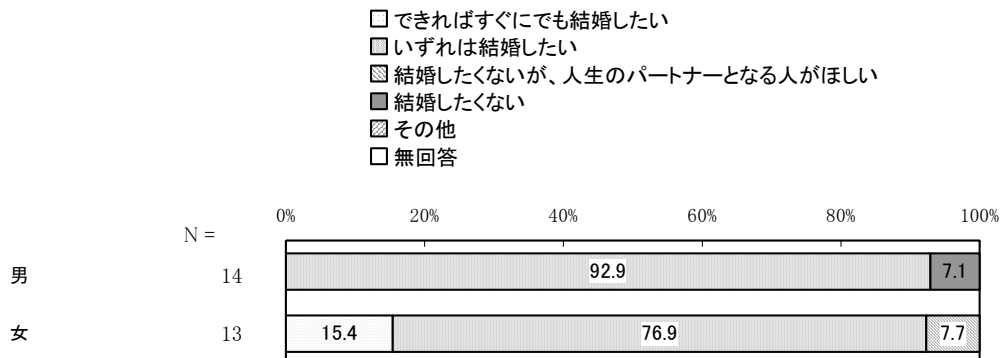
問6-1 問6で「3. 結婚も同居もしていない」と答えた方へ、「結婚」については、どのような考えをお持ちですか。(○は1つ)

「いずれは結婚したい」の割合が85.2%と最も高くなっています。 N = 27



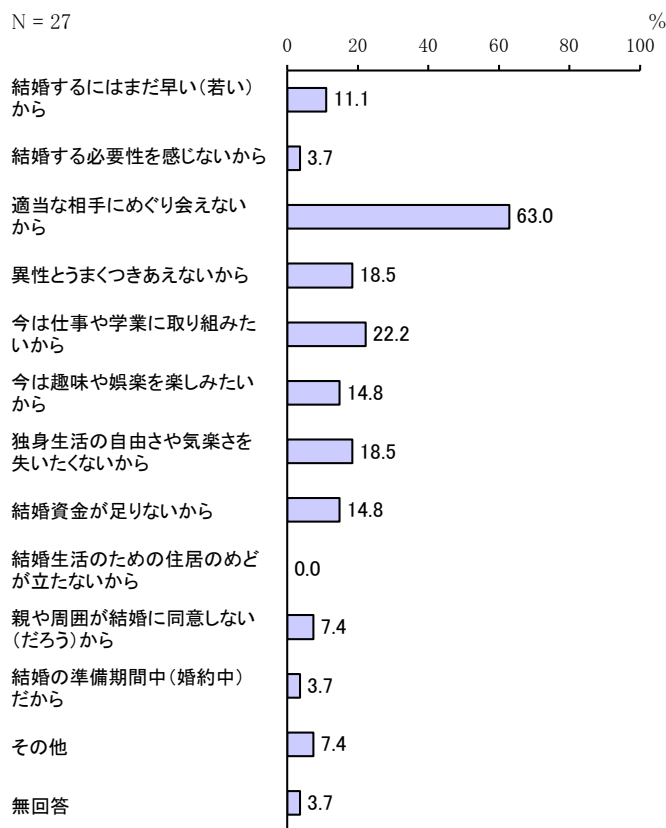
[性別 結婚についての考え]

性別でみると、男性で「結婚したくない」の割合が、約1割と女性に比べて高くなっています。



問6-2 問6で「3. 結婚も同居もしていない」と答えた方へ、理由をお聞かせください。(〇は主なもの3つまで)

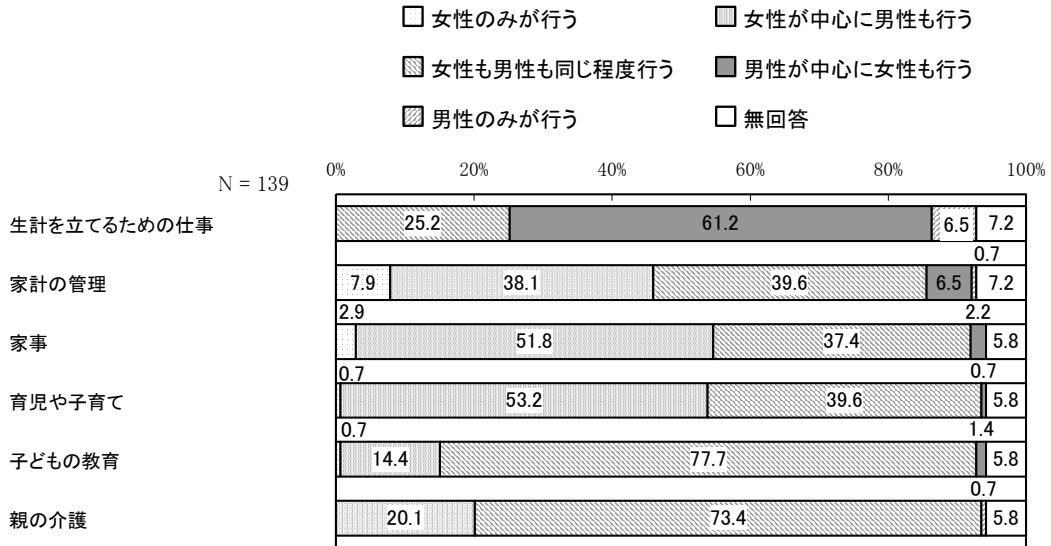
「適当な相手にめぐり会えないから」の割合が63.0%と最も高く、次いで「今は仕事や学業に取り組みたいから」の割合が22.2%、「異性とうまくつきあえないから」「独身生活の自由さや気楽さを失いたくないから」の割合が18.5%となっています。



配偶者・パートナーがいらっしゃる方、また今後持ちたいとお考えの方におうかがいします。

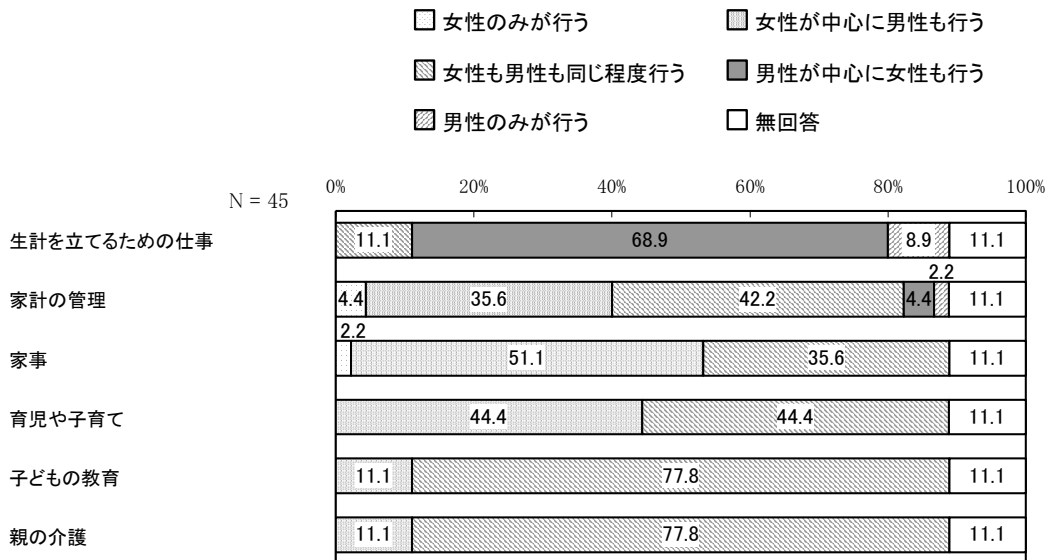
問7 あなたは、配偶者・パートナーとはどのような役割分担をする方がよいと思いますか。(それぞれ○は1つ)

「生計を立てるための仕事」で「男性が中心に女性も行う」の割合が高くなっています。また、「子どもの教育」「親の介護」で「女性も男性も同じ程度行う」の割合が高くなっています。



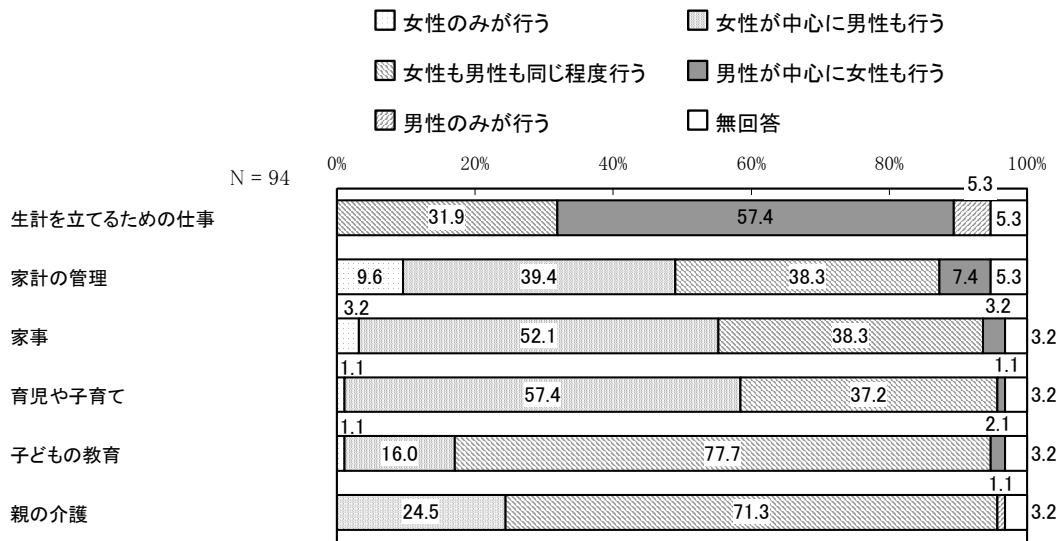
[男性 配偶者・パートナーとの役割分担]

「生計を立てるための仕事」で「男性が中心に女性も行う」の割合が約7割と高くなっています。



[女性 配偶者・パートナーとの役割分担]

「子どもの教育」「親の介護」で「女性も男性も同じ程度行う」の割合が7割以上と高くなっています。



(4) 子育てや結婚について

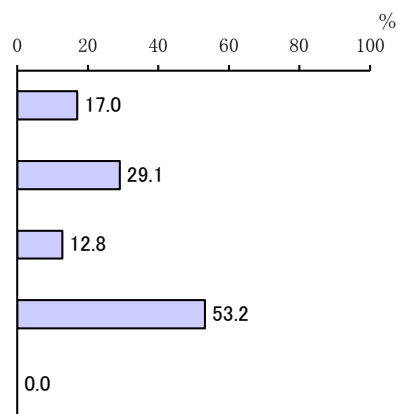
すべての方におうかがいします。

問8 あなたは、これまでに子どもと関わったことがありますか。(〇はいくつでも)

「子どもと関わった経験はほとんどない」の割合が53.2%と最も高く、次いで「兄弟姉妹や親類の子ども、近所の子どもなどの世話を日常的にしたことがある」の割合が29.1%、「学校や職場で、ボランティアとして子どもの世話をしたことがある」の割合が17.0%となっています。

N = 141

学校や職場で、ボランティアとして子どもの世話をしたことがある
兄弟姉妹や親類の子ども、近所の子どもなどの世話を日常的にしたことがある
職業上、保育や子どもの教育に携わっている(携わったことがある)
子どもと関わった経験はほとんどない
無回答



[性別 子どもとの関わりの有無]

性別でみると、男性で「子どもと関わった経験はほとんどない」の割合が、6割以上と女性に比べて高くなっています。また、女性で「学校や職場で、ボランティアとして子どもの世話をしたことがある」の割合が、2割以上と男性に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	学校や職場で、ボランティアとして子どもの世話をしたことがある	兄弟姉妹や親類の子ども、近所の子どもなどの世話を日常的にしたことがある	職業上、保育や子どもの教育に携わっている(携わったことがある)	子どもと関わった経験はほとんどない	無回答
男性	46	8.7	32.6	2.2	63.0	-
女性	95	21.1	27.4	17.9	48.4	-

[年齢別 子どもとの関わりの有無]

年齢別でみると、25～29歳、30～34歳、35～39歳で「子どもと関わった経験はほとんどない」の割合が、5割以上と他の年齢に比べて高くなっています。

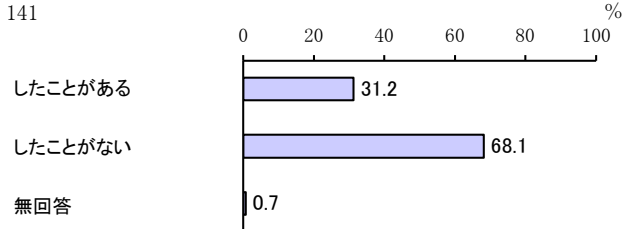
単位：%

	有効回答数(件)	学校や職場で、ボランティアとして子どもの世話をしたことがある	兄弟姉妹や親類の子ども、近所の子どものなどの世話を日常的にしたことがある	職業上、保育や子どもの教育に携わっている(携わったことがある)	子どもと関わった経験はほとんどない	無回答
20～24歳	10	20.0	50.0	10.0	30.0	-
25～29歳	30	13.3	30.0	10.0	56.7	-
30～34歳	67	16.4	25.4	13.4	55.2	-
35～39歳	34	20.6	29.4	14.7	52.9	-

問9 あなたは、赤ちゃんにミルクを飲ませたり、オムツがえなどをしたりしたことがありますか。(○は1つ)

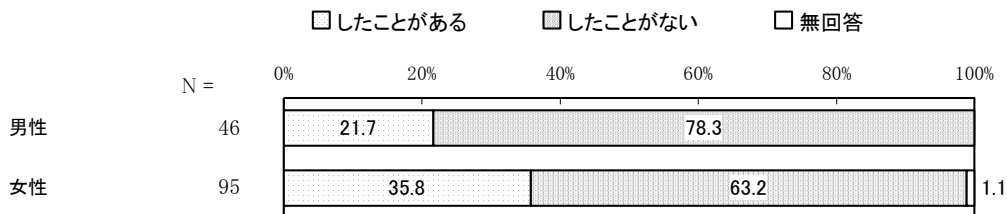
「したことがない」の割合が68.1%、「したことがある」の割合が31.2%となっています。

N = 141



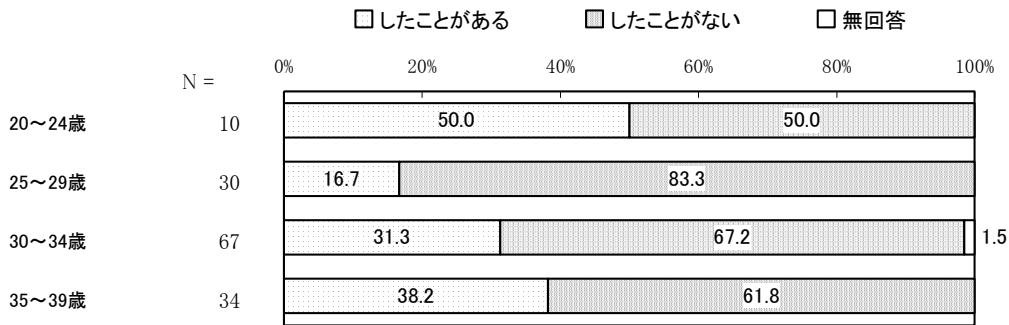
[性別 ミルクやオムツがえの経験の有無]

性別でみると、男性で「したことがない」の割合が、約8割と女性に比べて高くなっています。



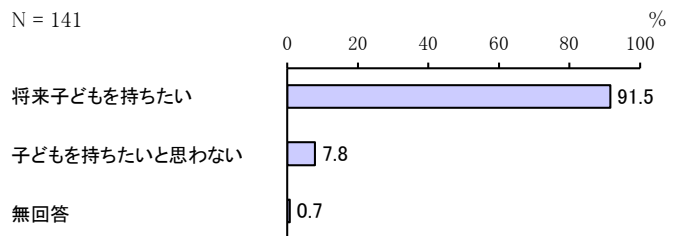
[年齢別 ミルクやおムツがえの経験の有無]

年齢別で見ると、25～29歳で「したことがない」の割合が、8割以上と他の年齢に比べて高くなっています。



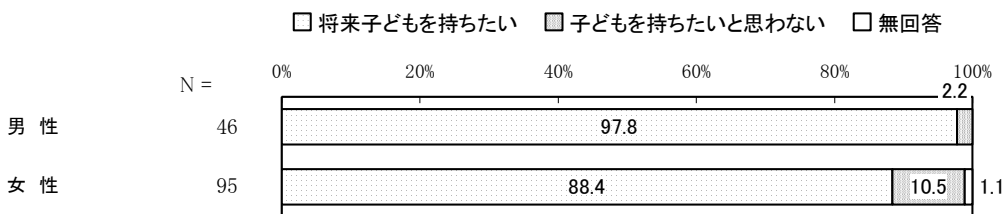
問10 あなたは、将来子どもを持ちたいと思いますか（○は1つ）

「将来子どもを持ちたい」の割合が91.5%、「子どもを持ちたいと思わない」の割合が7.8%となっています。



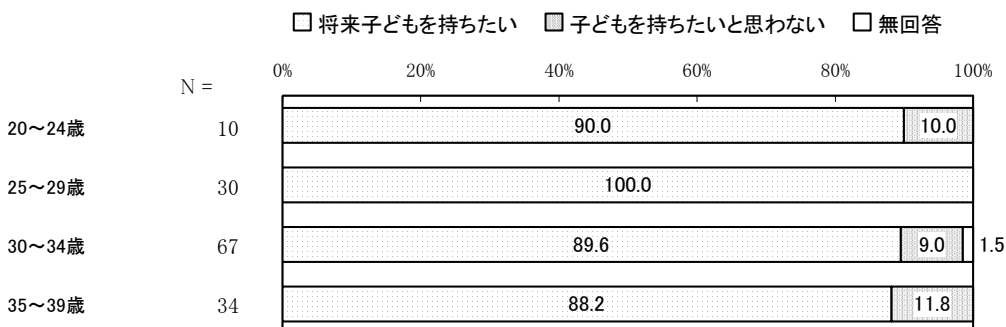
[性別 将来子どもを持ちたいか]

性別で見ると、女性で「子どもを持ちたいとは思わない」の割合が、1割以上と男性に比べて高くなっています。



[年齢別 将来子どもを持ちたいか]

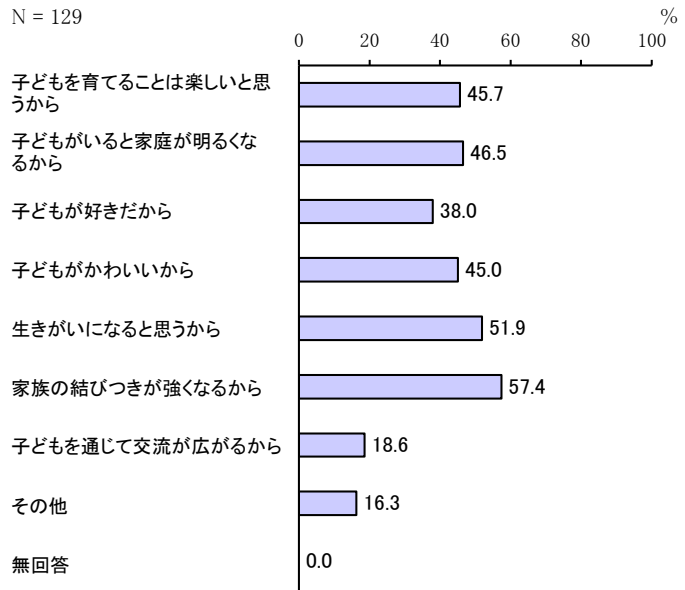
年齢別で見ると、25～29歳で「将来子どもを持ちたい」の割合が100%となっています。



問 10-1 問 10 で「1. 将来子どもを持ちたい」と答えた方へ、理由は何ですか。
(○はいくつでも)

「家族の結びつきが強くなるから」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「生きがいになると思うから」の割合が 51.9%、「子どもがいると家庭が明るくなるから」の割合が 46.5%となっています。

N = 129



[性別 将来子どもを持ちたい理由]

性別でみると、男性で「生きがいになると思うから」「子どもを育てることは楽しいと思うから」の割合が高く、女性で「家族の結びつきが強くなるから」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	子どもを育てることは楽しいと思うから	子どもがいると家庭が明るくなるから	子どもが好きだから	子どもがかわいいから	生きがいになると思うから	家族の結びつきが強くなるから	子どもを通じて交流が広がるから	その他	無回答
男性	45	60.0	51.1	46.7	51.1	68.9	51.1	17.8	13.3	-
女性	84	38.1	44.0	33.3	41.7	42.9	60.7	19.0	17.9	-

[年齢別 将来子どもを持ちたい理由]

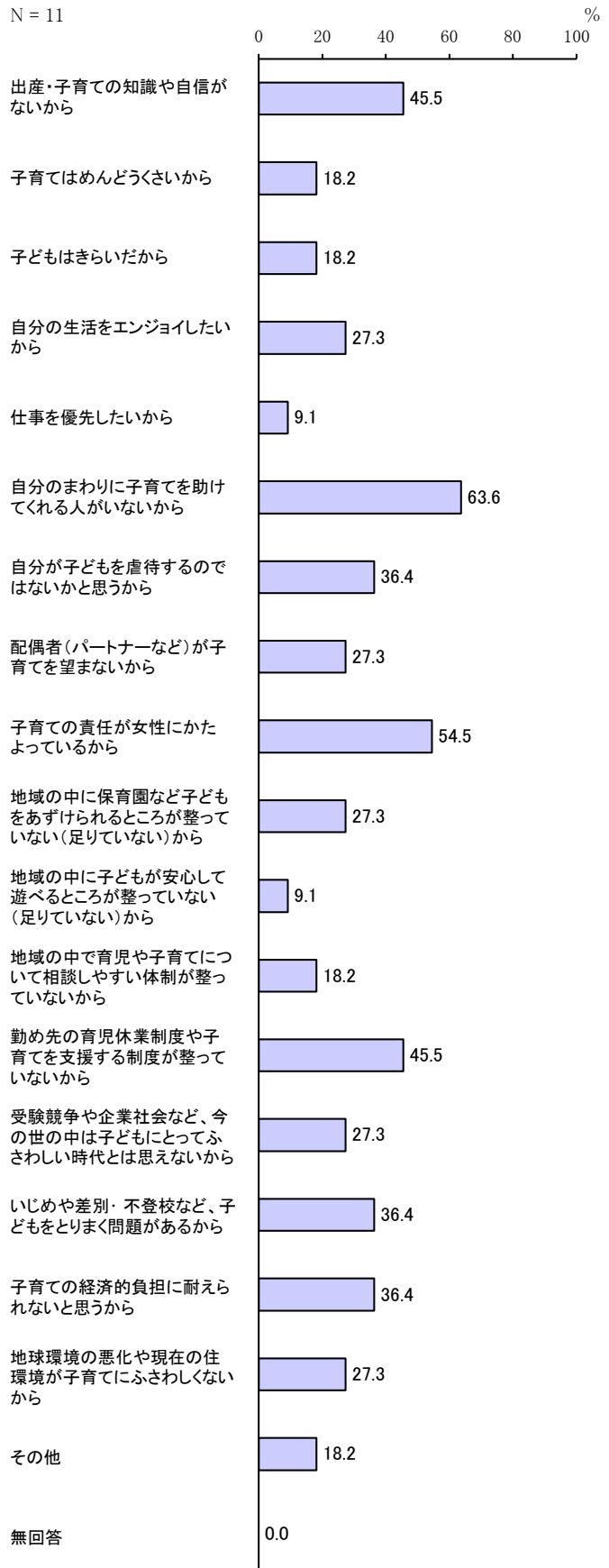
年齢別でみると、25～29歳で「家族の結びつきが強くなるから」「生きがいになると思うから」「子どもがいると家庭が明るくなるから」の割合が、他の年齢に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	子どもを育てることは楽しいと思うから	子どもがいると家庭が明るくなるから	子どもが好きだから	子どもがかわいいから	生きがいになると思うから	家族の結びつきが強くなるから	子どもを通じて交流が広がるから	その他	無回答
20～24歳	9	77.8	55.6	77.8	66.7	66.7	55.6	22.2	-	-
25～29歳	30	40.0	63.3	40.0	56.7	70.0	73.3	26.7	10.0	-
30～34歳	60	43.3	41.7	30.0	41.7	43.3	50.0	16.7	21.7	-
35～39歳	30	46.7	36.7	40.0	33.3	46.7	56.7	13.3	16.7	-

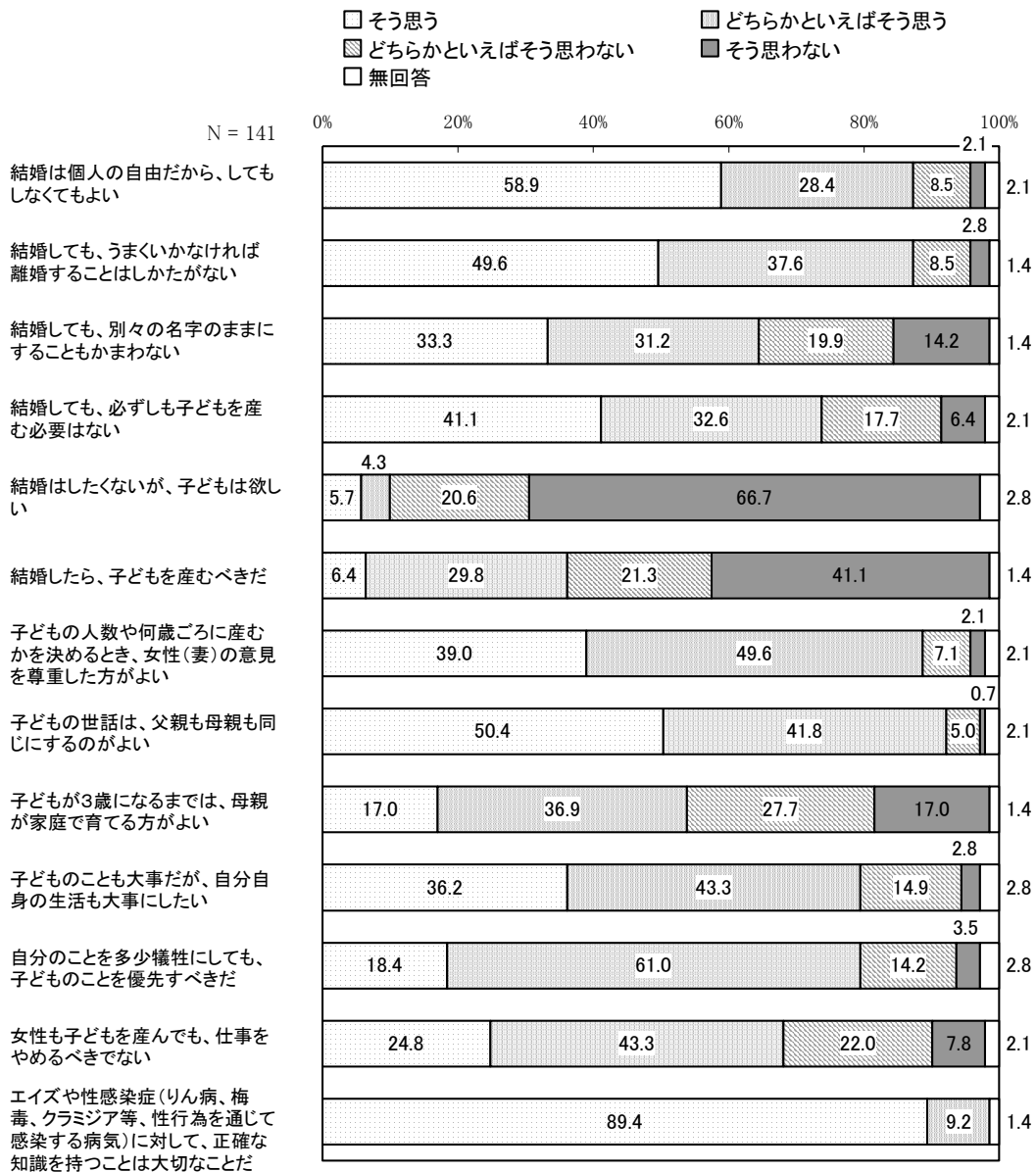
問 10-2 問 10 で「2. 子どもを持ちたいと思わない」と答えた方へ、理由は何ですか。
(〇はいくつでも)

「自分のまわりに子育てを助けてくれる人がいないから」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「子育ての責任が女性にかたよっているから」の割合が 54.5%、「出産・子育ての知識や自信がないから」「勤め先の育児休業制度や子育てを支援する制度が整っていないから」の割合がそれぞれ 45.5%となっています。



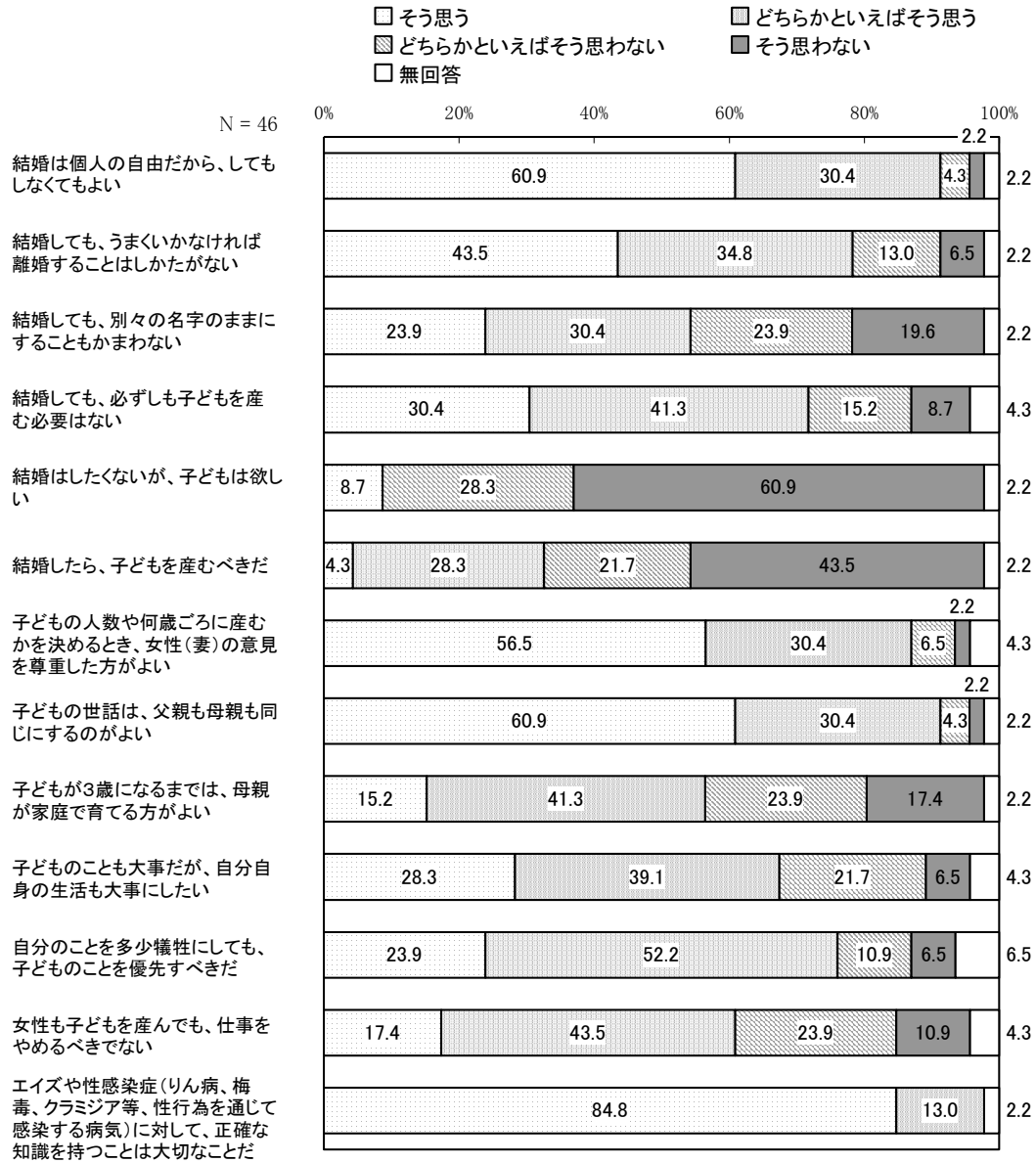
問 11 あなたは、結婚や子育てに関する次のような考え方についてどう思いますか。(それぞれ○は1つ)

「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」「結婚しても、うまくいかなければ離婚することはしかたがない」「子どもの世話は、父親も母親も同じにするのがよい」「エイズや性感染症(りん病、梅毒、クラミジア等、性行為を通じて感染する病気)に対して、正確な知識を持つことは大切なことだ」で「そう思う」の割合が高くなっています。また、「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」「結婚したら、子どもを産むべきだ」で「そう思わない」の割合が高くなっています。



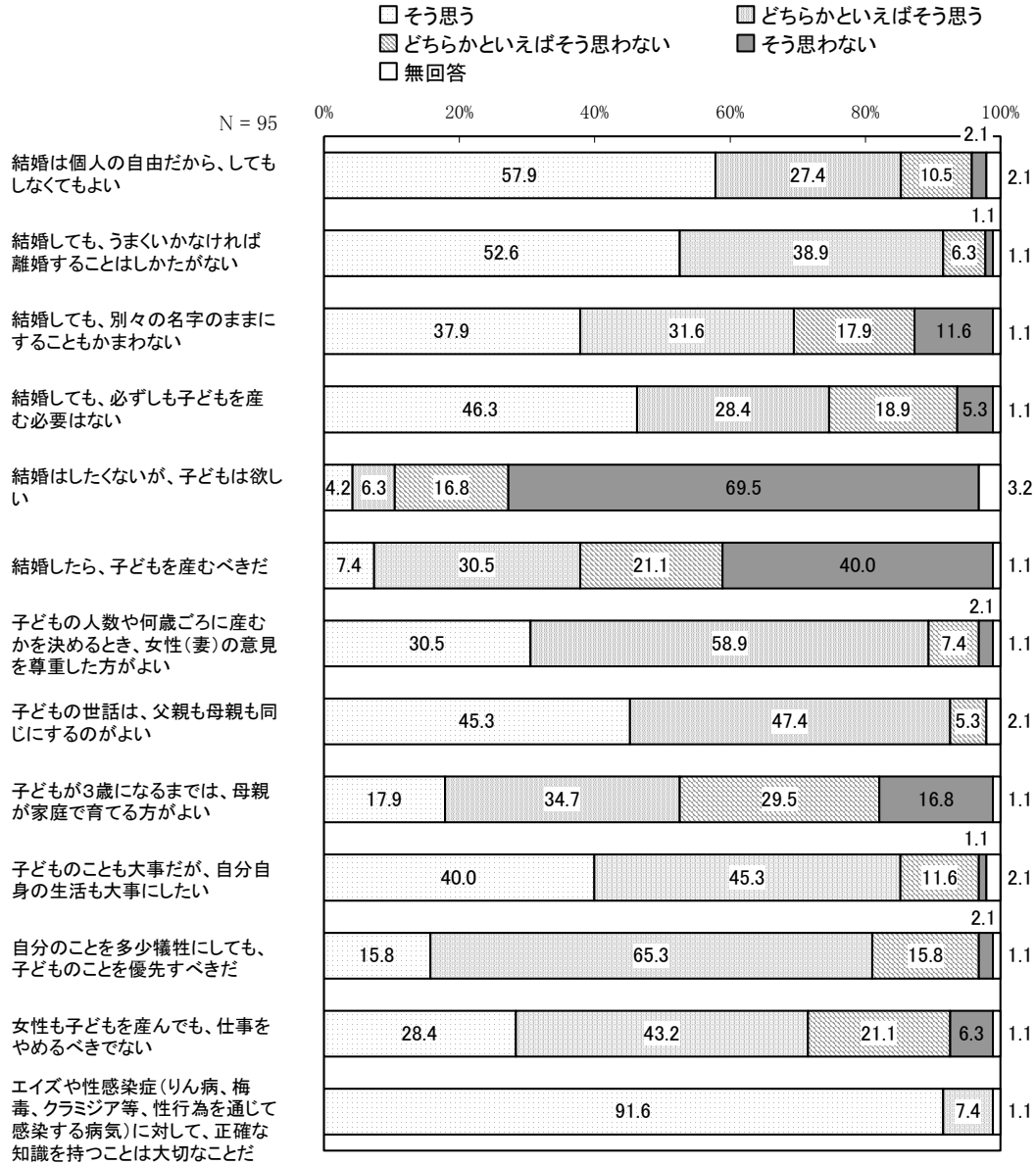
[男性 結婚や子育てに関する考え方]

「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」「結婚したら、子どもを産むべきだ」で、「そう思わない」の割合が高くなっています。



[女性 結婚や子育てに関する考え方]

「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」「結婚したら、子どもを産むべきだ」で、「そう思わない」の割合が高くなっています。

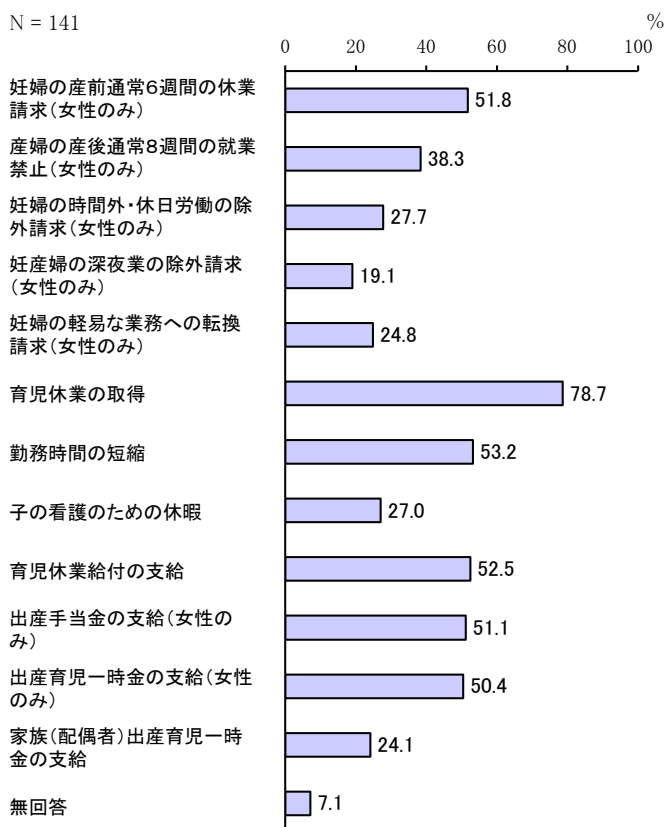


(5) 労働・社会保険等による支援の周知状況について

問 12 あなたは、妊産婦や子育て中の労働者に対して、労働・社会保険等による次のような支援があることを知っていますか。(〇はいくつでも)

「育児休業の取得」の割合が 78.7%と最も高く、次いで「勤務時間の短縮」の割合が 53.2%、「育児休業給付の支給」の割合が 52.5%となっています。

N = 141



[性別 労働・社会保険等の支援の認知]

性別でみると、女性で「育児休業の取得」「勤務時間の短縮」「育児休業給付の支給」「妊婦の産前通常6週間の休業請求(女性のみ)」「出産手当金の支給(女性のみ)」「出産育児一時金の支給(女性のみ)」「産婦の産後通常8週間の就業禁止(女性のみ)」の割合が、男性に比べて高くなっています。

単位：%

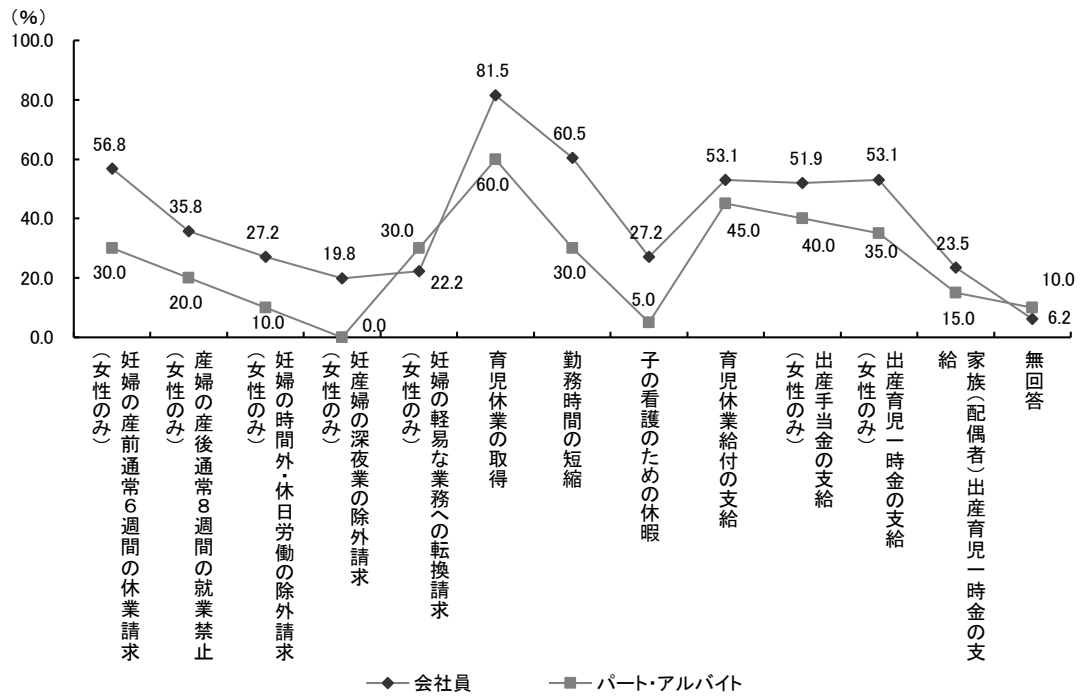
	有効回答数(件)	妊婦の産前通常6週間の休業請求(女性のみ)	産婦の産後通常8週間の就業禁止(女性のみ)	妊婦の時間外・休日労働の除外請求(女性のみ)	妊産婦の深夜業の除外請求(女性のみ)	妊婦の軽易な業務への転換請求(女性のみ)	育児休業の取得	勤務時間の短縮	子の看護のための休暇	育児休業給付の支給	出産手当金の支給(女性のみ)	出産育児一時金の支給(女性のみ)	家族(配偶者)出産育児一時金の支給	無回答
男性	46	43.5	28.3	26.1	17.4	28.3	71.7	45.7	28.3	41.3	41.3	41.3	23.9	10.9
女性	95	55.8	43.2	28.4	20.0	23.2	82.1	56.8	26.3	57.9	55.8	54.7	24.2	5.3

[職業別 労働・社会保険等の支援の認知]

職業別でみると、会社員で「勤務時間の短縮」、公務員で「出産手当金の支給（女性のみ）」「産婦の産後通常8週間の就業禁止（女性のみ）」の割合が、他の職業に比べて高くなっています。

単位：%

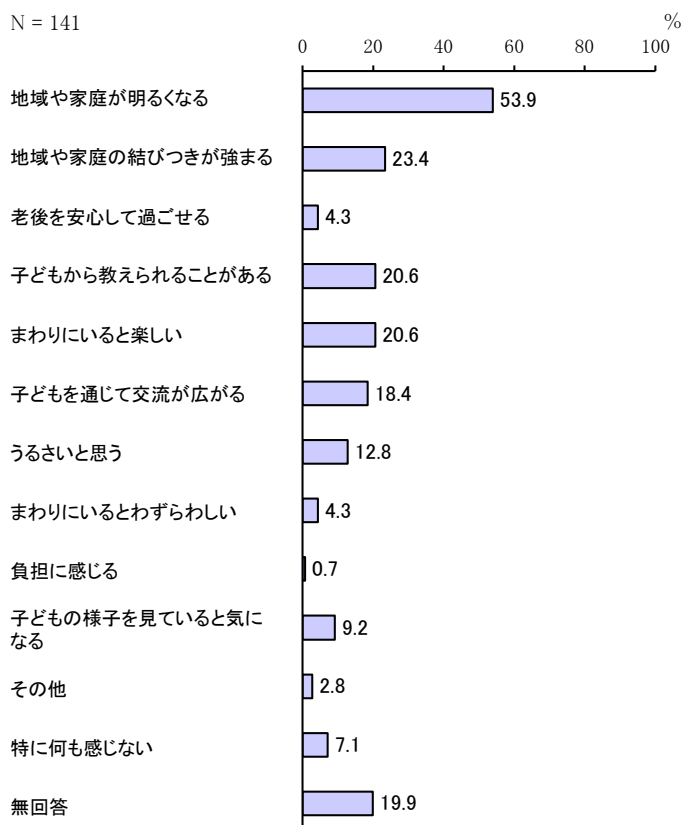
	有効回答数(件)	妊婦の産前通常6週間の休業請求(女性のみ)	産婦の産後通常8週間の就業禁止(女性のみ)	妊婦の時間外・休日労働の除外請求(女性のみ)	妊産婦の深夜業の除外請求(女性のみ)	妊婦の軽易な業務への転換請求(女性のみ)	育児休業の取得	勤務時間の短縮	子の看護のための休暇	育児休業給付の支給	出産手当金の支給(女性のみ)	出産育児一時金の支給(女性のみ)	家族(配偶者)出産育児一時金の支給	無回答
会社員	81	56.8	35.8	27.2	19.8	22.2	81.5	60.5	27.2	53.1	51.9	53.1	23.5	6.2
自営業	4	25.0	25.0	-	-	-	100.0	25.0	-	50.0	50.0	75.0	-	-
公務員・団体職員	13	61.5	76.9	46.2	46.2	46.2	84.6	53.8	76.9	61.5	69.2	61.5	46.2	7.7
パート・アルバイト	20	30.0	20.0	10.0	-	30.0	60.0	30.0	5.0	45.0	40.0	35.0	15.0	10.0
無職	12	58.3	50.0	41.7	16.7	25.0	75.0	50.0	33.3	58.3	50.0	41.7	25.0	-
学生	3	33.3	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-	-	-	33.3
その他	7	57.1	57.1	57.1	42.9	28.6	85.7	71.4	14.3	71.4	57.1	71.4	42.9	14.3



(6) 地域交流について

問 13 あなたは家族や地域社会など、自分の周りに子どもがいることをどう思いますか。
(〇は主なもの3つまで)

「地域や家庭が明るくなる」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「地域や家庭の結びつきが強まる」の割合が 23.4%、「子どもから教えられることがある」「まわりにいると楽しい」の割合がそれぞれ 20.6%となっています。



[性別 周りに子がいることについて思うこと]

性別でみると、男性で「まわりにいると楽しい」、女性で「うるさいと思う」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	地域や家庭が明るくなる	地域や家庭の結びつきが強まる	老後を安心して過ごせる	子どもから教えられることがある	まわりにいると楽しい	子どもを通じて交流が広がる	うるさいと思う	まわりにいるとわずらわしい	負担を感じる	子どもの様子を見ていると気になる	その他	特に何も感じない	無回答
男性	46	56.5	19.6	6.5	21.7	28.3	21.7	6.5	-	-	-	4.3	6.5	21.7
女性	95	52.6	25.3	3.2	20.0	16.8	16.8	15.8	6.3	1.1	13.7	2.1	7.4	18.9

[居住地区別 周りに子がいることについて思うこと]

居住地区別でみると、光が丘、大泉で「地域や家庭の結びつきが強まる」の割合が、約3割、大泉で「まわりにいると楽しい」の割合が、約4割と他の居住地区に比べて高くなっています。

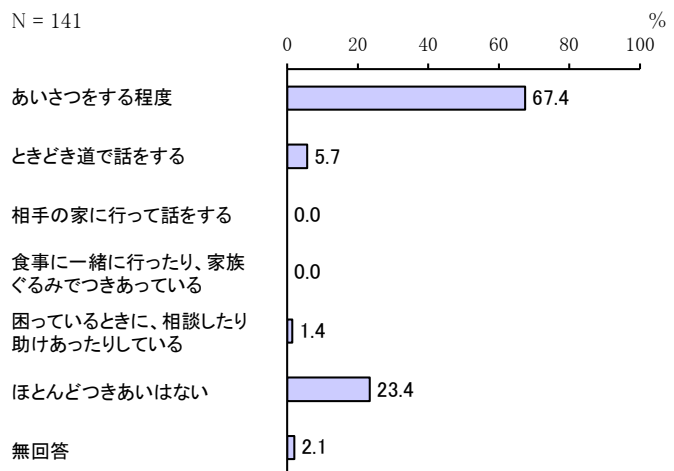
単位：%

	有効回答数(件)	地域や家庭が明るくなる	地域や家庭の結びつきが強まる	老後を安心して過ごせる	子どもから教えられることがある	まわりにいると楽しい	子どもを通じて交流が広がる	うるさいと思う	まわりにいるとわずらわしい	負担に感じる	子どもの様子を見ていると気になる	その他	特に何も感じない	無回答
練馬	37	56.8	16.2	5.4	27.0	16.2	21.6	10.8	5.4	-	13.5	2.7	8.1	13.5
光が丘	45	53.3	28.9	2.2	22.2	22.2	17.8	17.8	6.7	-	13.3	4.4	6.7	15.6
石神井	37	51.4	18.9	5.4	10.8	16.2	21.6	10.8	2.7	2.7	-	2.7	5.4	32.4
大泉	19	52.6	31.6	-	21.1	36.8	10.5	5.3	-	-	10.5	-	10.5	21.1

問 14 あなたの近所とのおつきあいはどうですか。(○は主なもの1つ)

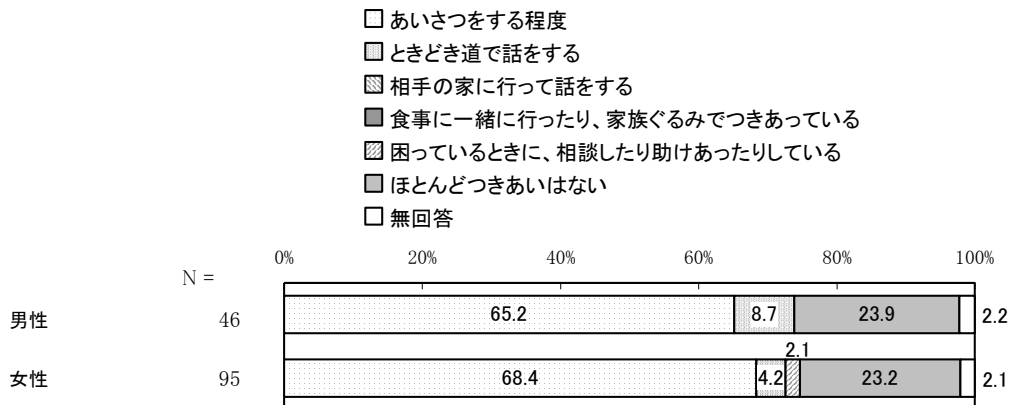
「あいさつをする程度」の割合が67.4%と最も高く、次いで「ほとんどつきあいはない」の割合が23.4%となっています。

N = 141



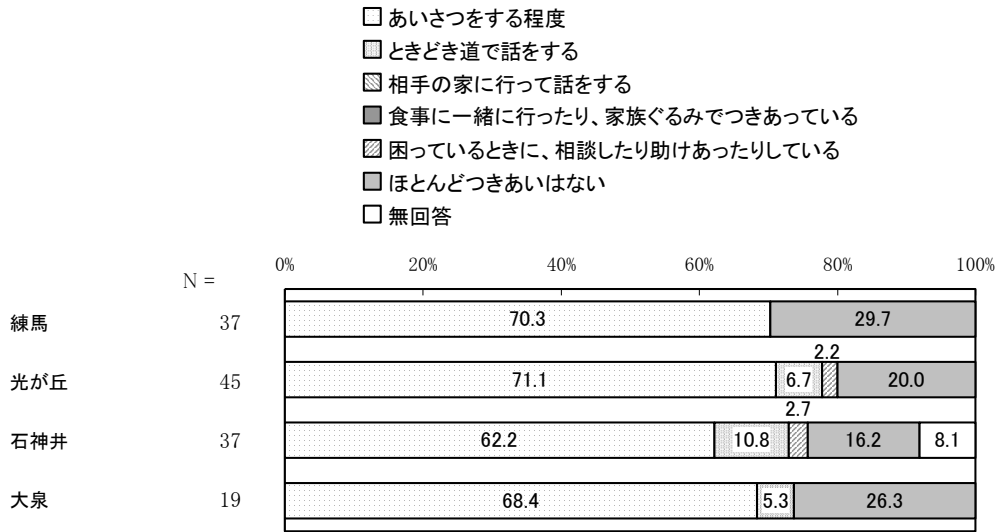
[性別 近所とのつきあいの状況]

性別でみると、男性、女性ともに「あいさつをする程度」が約7割となっています。



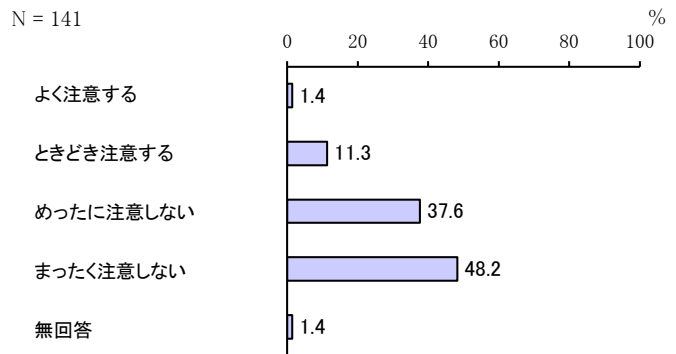
[居住地区別 近所とのつきあいの状況]

居住地区別でみると、練馬、光が丘、大泉で「ほとんどつきあいはない」の割合が2割以上と高くなっています。



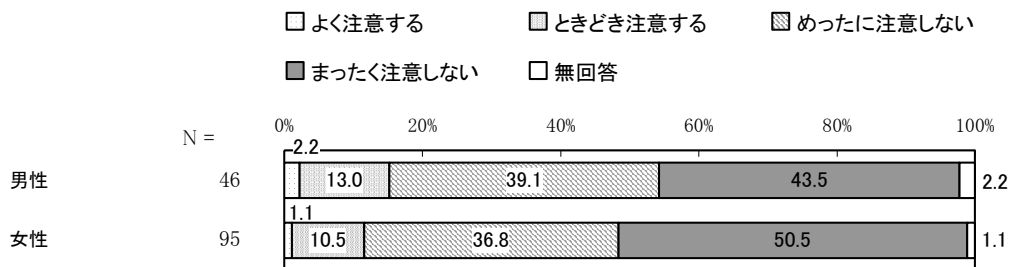
問15 あなたは、よその子どものいたずらやいじめなどに対して、注意をしますか。(○は1つ)

「まったく注意しない」の割合が48.2%と最も高く、次いで「めったに注意しない」の割合が37.6%、「ときどき注意する」の割合が11.3%となっています。



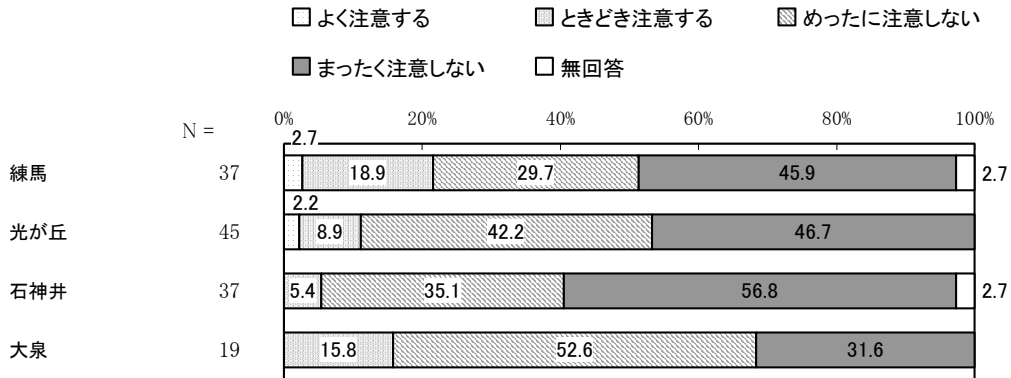
[性別 よその子へ注意するか]

性別でみると、女性で「まったく注意しない」の割合が、5割以上と男性に比べて高くなっています。



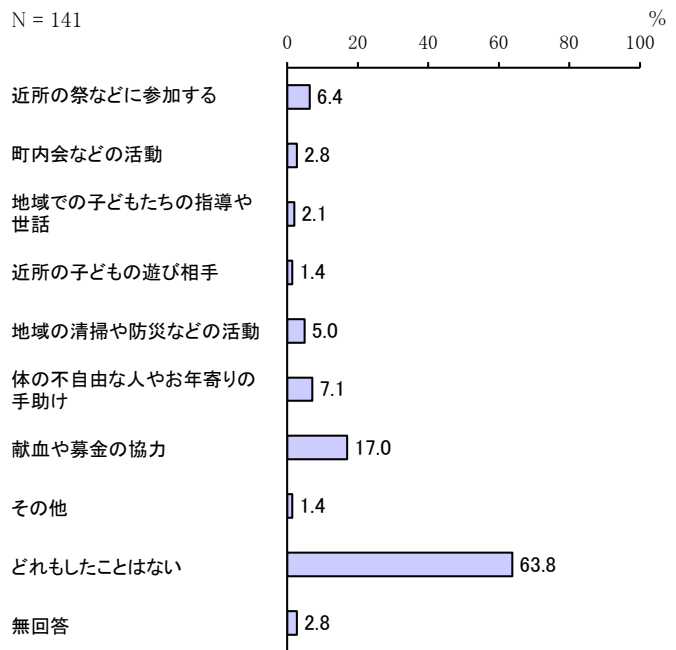
[居住地区別 よその子へ注意するか]

居住地区別で見ると、練馬で「ときどき注意する」「よく注意する」の割合が、他の居住地区に比べて高くなっています。



問 16 あなたは、この1年間で次のような地域活動をしたことがありますか。(〇はいくつでも)

「どれもしたことはない」の割合が63.8%と最も高く、次いで「献血や募金の協力」の割合が17.0%、「体の不自由な人やお年寄りの手助け」の割合が7.1%となっています。



[性別 地域活動への参加状況]

性別でみると、男性で「どれもしたことがない」の割合が、約7割と女性に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	近所の祭などに参加する	町内会などの活動	地域での子どもたちの指導や世話	近所の子どもの遊び相手	地域の清掃や防災などの活動	体の不自由な人やお年寄りの手助け	献血や募金の協力	その他	どれもしたことはない	無回答
男性	46	2.2	2.2	4.3	-	4.3	4.3	15.2	-	69.6	4.3
女性	95	8.4	3.2	1.1	2.1	5.3	8.4	17.9	2.1	61.1	2.1

[居住地区別 地域活動への参加状況]

居住地区別でみると、光が丘で「献血や募金の協力」の割合が、2割以上と他の居住地区に比べて高くなっています。

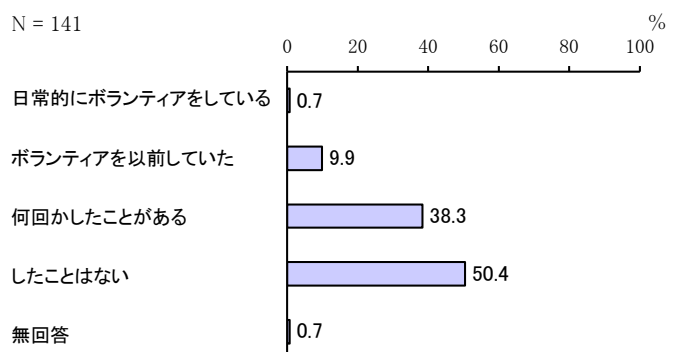
単位：%

	有効回答数(件)	近所の祭などに参加する	町内会などの活動	地域での子どもたちの指導や世話	近所の子どもの遊び相手	地域の清掃や防災などの活動	体の不自由な人やお年寄りの手助け	献血や募金の協力	その他	どれもしたことはない	無回答
練馬	37	8.1	-	5.4	-	2.7	5.4	16.2	2.7	64.9	5.4
光が丘	45	8.9	4.4	2.2	2.2	4.4	6.7	24.4	2.2	55.6	2.2
石神井	37	5.4	5.4	-	-	8.1	8.1	13.5	-	67.6	2.7
大泉	19	-	-	-	5.3	5.3	10.5	10.5	-	68.4	-

問17 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)

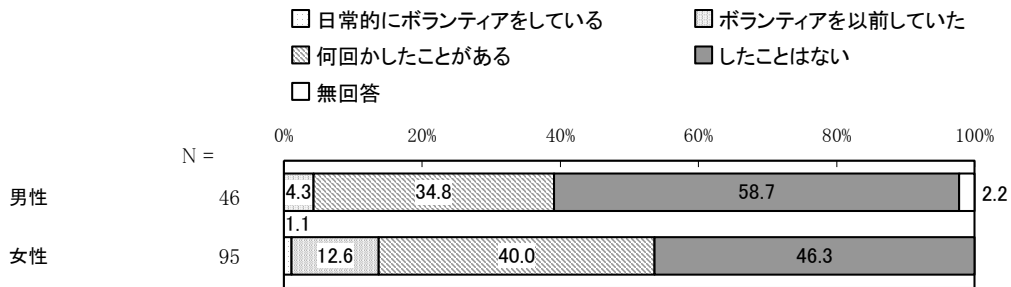
「したことはない」の割合が50.4%と最も高く、次いで「何回かしたことがある」の割合が38.3%、「ボランティアを以前していた」の割合が9.9%となっています。

N = 141



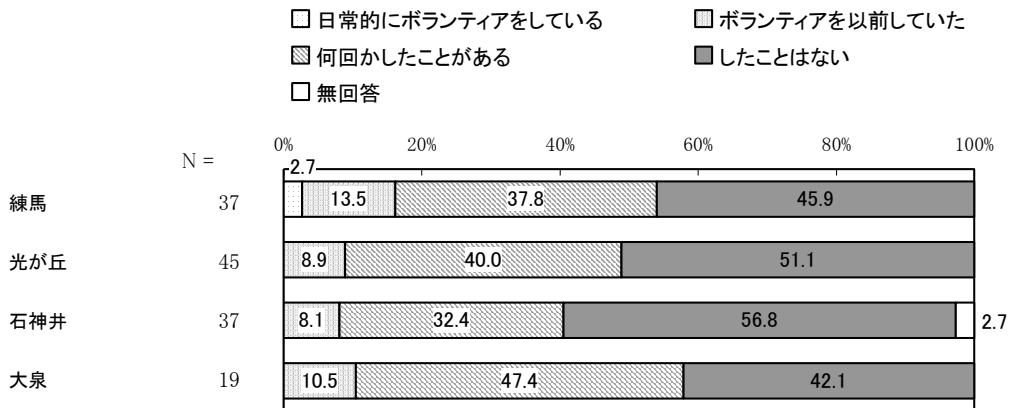
[性別 ボランティア活動への参加の有無]

性別で見ると、女性で「何回かしたことがある」「ボランティアを以前していた」の割合が、男性に比べて高くなっています。



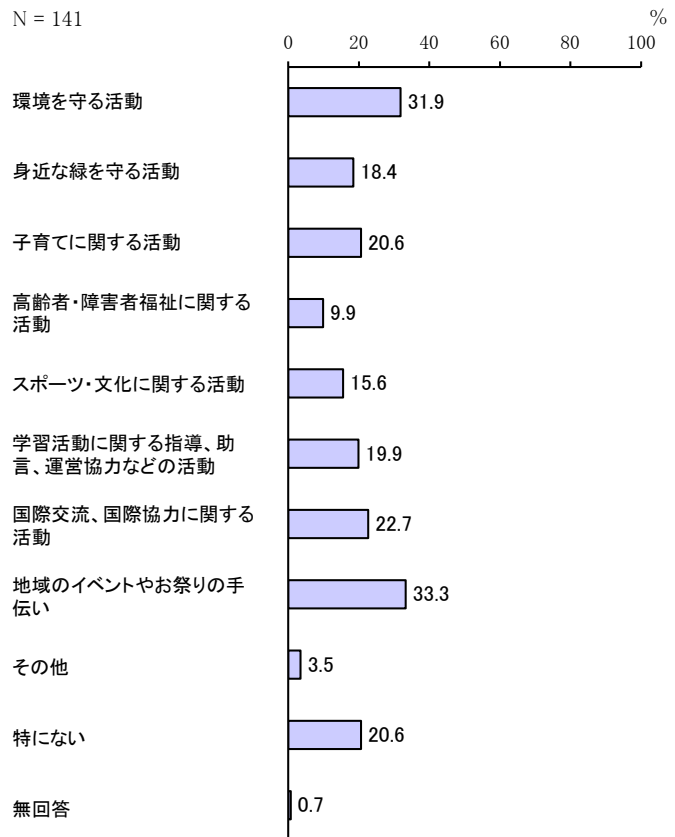
[居住地区別 ボランティア活動への参加の有無]

居住地区別で見ると、大泉で「何回かしたことがある」の割合が、約5割と他の居住地区に比べて高くなっています。



問 18 あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。(〇はいくつでも)

「地域のイベントやお祭りの手伝い」の割合が33.3%と最も高く、次いで「環境を守る活動（清掃美化活動、リサイクル活動など）」の割合が31.9%、「国際交流、国際協力に関する活動（通訳、外国人を助けるなど）」の割合が22.7%となっています。



[性別 参加したいボランティア活動]

性別でみると、男性で「環境を守る活動（清掃美化活動、リサイクル活動など）」、「スポーツ・文化に関する活動（小学生にスポーツを教えるなど）」の割合が高く、女性で「子育てに関する活動（保育園での乳幼児の世話、児童館での児童や幼児の世話、学校応援団の活動など）」「学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動（料理、英語、書道など）」「身近な緑を守る活動（花壇づくりなど）」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	環境を守る活動(清掃美化活動、リサイクル活動など)	身近な緑を守る活動(花壇づくりなど)	子育てに関する活動(保育園での乳幼児の世話、児童館での児童や幼児の世話、学校応援団の活動など)	高齢者・障害者福祉に関する活動(おとしよりや障害者への介護、給食など)	スポーツ・文化に関する活動(小学生にスポーツを教えるなど)	学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動(料理、英語、書道など)	国際交流、国際協力に関する活動(通訳、外国人を助けるなど)	地域のイベントやお祭りの手伝い	その他	特になし	無回答
男性	46	37.0	13.0	13.0	6.5	26.1	13.0	19.6	32.6	-	23.9	2.2
女性	95	29.5	21.1	24.2	11.6	10.5	23.2	24.2	33.7	5.3	18.9	-

[居住地区別 参加したいボランティア活動]

居住地区別でみると、大泉で「地域のイベントやお祭りの手伝い」「環境を守る活動（清掃美化活動、リサイクル活動など）」「子育てに関する活動（保育園での乳幼児の世話、児童館での児童や幼児の世話、学校応援団の活動など）」の割合が、他の居住地区に比べて高くなっています。

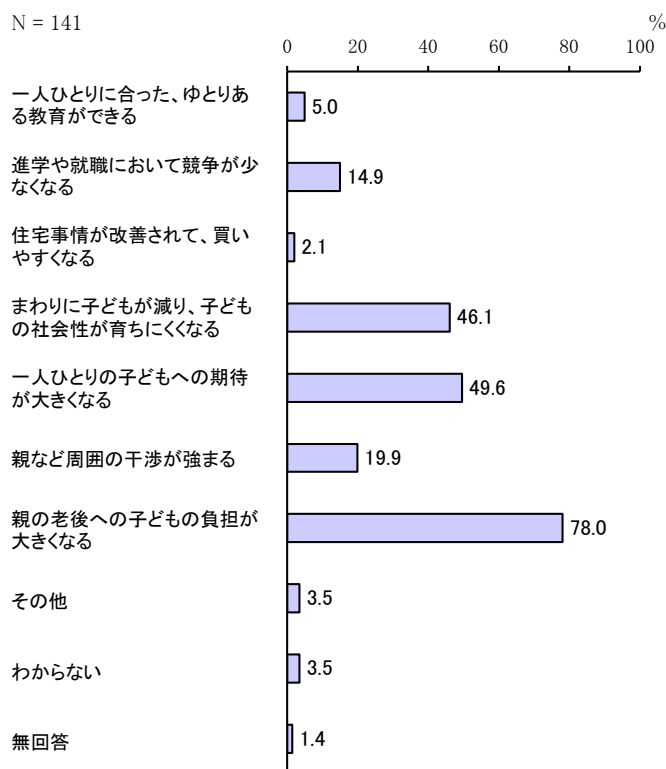
単位：%

	有効回答数(件)	環境を守る活動(清掃美化活動、リサイクル活動など)	身近な緑を守る活動(花壇づくりなど)	子育てに関する活動(保育園での乳幼児の世話、児童館での児童や幼児の世話、学校応援団の活動など)	高齢者・障害者福祉に関する活動(おとしよりや障害者への介護、給食など)	スポーツ・文化に関する活動(小学生にスポーツを教えるなど)	学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動(料理、英語、書道など)	国際交流、国際協力に関する活動(通訳、外国人を助けるなど)	地域のイベントやお祭りの手伝い	その他	特になし	無回答
練馬	37	32.4	18.9	24.3	18.9	16.2	24.3	27.0	21.6	-	16.2	-
光が丘	45	24.4	17.8	13.3	11.1	15.6	26.7	24.4	33.3	6.7	22.2	-
石神井	37	32.4	13.5	18.9	5.4	16.2	13.5	18.9	35.1	5.4	24.3	2.7
大泉	19	42.1	26.3	36.8	-	15.8	10.5	15.8	57.9	-	15.8	-

(7) 少子社会に対する考え方について

問 19 あなたは、少子社会（＝出生率が低下し、子どもの数が減ることにより、将来的には人口規模の縮小が考えられる社会）が、個人の生活にどのような影響を与えますか。（〇は主なもの3つまで）

「親の老後への子どもの負担が大きくなる」の割合が78.0%と最も高く、次いで「一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる」の割合が49.6%、「まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちにくくなる」の割合が46.1%となっています。



[性別 少子社会が個人生活に与える影響]

性別で見ると、女性で「親の老後への子どもの負担が大きくなる」「親など周囲の干渉が強まる」の割合が、男性に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	一人ひとりに合った、ゆとりある教育ができる	進学や就職において競争が少なくなる	住宅事情が改善されて、買いやすくなる	まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちにくくなる	一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる	親など周囲の干渉が強まる	親の老後への子どもの負担が大きくなる	その他	わからない	無回答
男性	46	4.3	15.2	2.2	43.5	50.0	13.0	71.7	4.3	4.3	2.2
女性	95	5.3	14.7	2.1	47.4	49.5	23.2	81.1	3.2	3.2	1.1

[居住地区別 少子社会が個人生活に与える影響]

居住地区別でみると、練馬で「親の老後への子どもの負担が大きくなる」、光が丘で「一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる」、石神井で「まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちにくくなる」の割合が、他の居住地区に比べて高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	一人ひとりに合った、ゆとりある教育ができる	進学や就職において競争が少なくなる	住宅事情が改善されて、買いやすくなる	まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちにくくなる	一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる	親など周囲の干渉が強まる	親の老後への子どもの負担が大きくなる	その他	わからない	無回答
練馬	37	2.7	16.2	-	48.6	45.9	18.9	83.8	2.7	5.4	2.7
光が丘	45	6.7	13.3	6.7	35.6	55.6	20.0	75.6	6.7	4.4	-
石神井	37	-	13.5	-	54.1	45.9	29.7	75.7	2.7	-	2.7
大泉	19	10.5	15.8	-	47.4	47.4	5.3	73.7	-	5.3	-

問 20 あなたは、少子社会が国や地域社会にどのような影響を与えていると思いますか。(〇は主なもの3つまで)

「現役世代の租税や社会保障負担(年金や医療費など)が大きくなる」の割合が82.3%と最も高く、次いで「若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる」の割合が68.1%、「地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる」の割合が48.9%となっています。

N = 141

人口規模が縮小することにより、環境問題の改善がみられるようになる

就労人口が減少して、就職や再就職などがしやすくなる

女性の社会進出が強まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく風潮が高まる

若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる

現役世代の租税や社会保障負担(年金や医療費など)が大きくなる

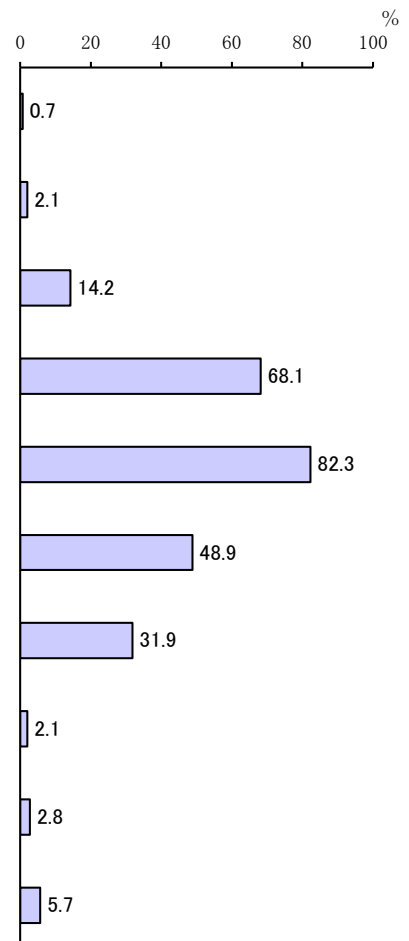
地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる

地域で子育てをする住民が孤立化し、育児不安が広がる

その他

わからない

無回答



[性別 少子社会が地域社会等に与える影響]

性別でみると、男性で「地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる」の割合が高く、女性で「地域で子育てをする住民が孤立化し、育児不安が広がる」「女性の社会進出が強まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく風潮が高まる」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	人口規模が縮小することにより、環境問題の改善がみられるようになる	就労人口が減少して、就職や再就職などがしやすくなる	就労人口が減少して、就職や再就職などがしやすくなる	女性の社会進出が強まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく風潮が高まる	若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる	現役世代の租税や社会保障負担(年金や医療費など)が大きくなる	地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる	地域で子育てをする住民が孤立化し、育児不安が広がる	その他	わからない	無回答
男性	46	-	2.2	6.5	73.9	78.3	60.9	26.1	2.2	2.2	6.5	
女性	95	1.1	2.1	17.9	65.3	84.2	43.2	34.7	2.1	3.2	5.3	

[居住地区別 少子社会が地域社会等に与える影響]

居住地区別でみると、光が丘、石神井で「若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる」の割合が高く、石神井、大泉で「地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる」の割合が、他の居住地区に比べて高くなっています。

単位：%

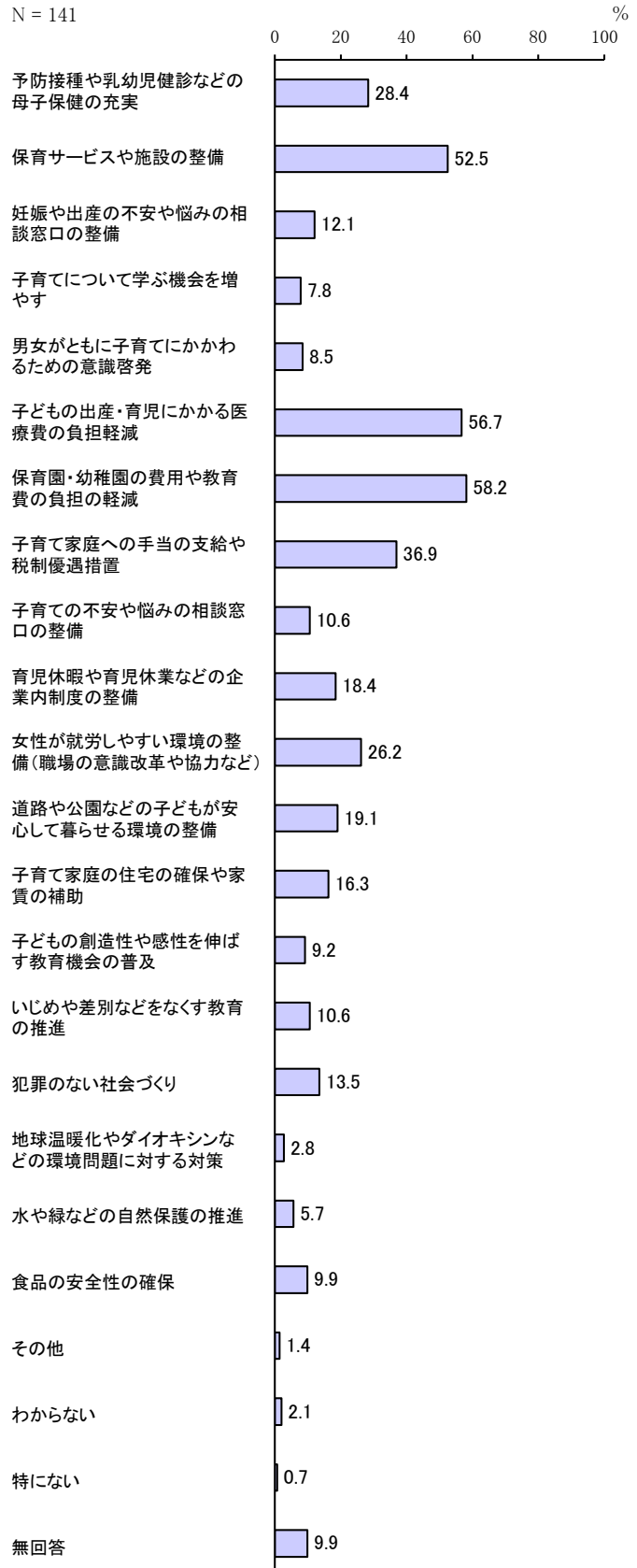
	有効回答数(件)	人口規模が縮小することにより、環境問題の改善がみられるようになる	就労人口が減少して、就職や再就職などがしやすくなる	就労人口が減少して、就職や再就職などがしやすくなる	女性の社会進出が強まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく風潮が高まる	若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる	現役世代の租税や社会保障負担(年金や医療費など)が大きくなる	地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる	地域で子育てをする住民が孤立化し、育児不安が広がる	その他	わからない	無回答
練馬	37	-	2.7	18.9	56.8	73.0	45.9	37.8	2.7	-	10.8	
光が丘	45	2.2	4.4	15.6	75.6	88.9	44.4	26.7	2.2	4.4	2.2	
石神井	37	-	-	5.4	78.4	81.1	59.5	37.8	-	2.7	5.4	
大泉	19	-	-	15.8	52.6	84.2	52.6	15.8	10.5	-	5.3	

(8) 行政サービスへの要望について

問 21 あなたは、子育てしやすい環境を整備するために、区はどうしていくのがよいと思いますか。(〇は5つまで)

「保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減」の割合が58.2%と最も高く、次いで「子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減」の割合が56.7%、「保育サービスや施設の整備」の割合が52.5%となっています。

N = 141



[性別 区への要望]

性別でみると、男性で「子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置」「道路や公園などの子どもが安心して暮らせる環境の整備」の割合が高く、女性で「子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減」「女性が就労しやすい環境の整備（職場の意識改革や協力など）」の割合が高くなっています。

単位：％

	有効回答数(件)	予防接種や乳幼児健診などの母子保健の充実	保育サービスマスや施設の整備	妊娠や出産の不安や悩みの相談窓口の整備	子育てについて学ぶ機会を増やす	男女がともに子育てにかかわるための意識啓発	子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減	保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減	子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	育児休暇や育児休業などの企業内制度の整備	女性が就労しやすい環境の整備（職場の意識改革や協力など）	道路や公園などの子どもが安心して暮らせる環境の整備
男性	46	26.1	50.0	10.9	6.5	10.9	50.0	56.5	43.5	13.0	19.6	19.6	30.4
女性	95	29.5	53.7	12.6	8.4	7.4	60.0	58.9	33.7	9.5	17.9	29.5	13.7

	子育て家庭の住宅の確保や家賃の補助	子どもの創造性や感性を伸ばす教育機会の普及	いじめや差別などをなくす教育の推進	犯罪のない社会づくり	地球温暖化やダイオキシンなどの環境問題に対する対策	水や緑などの自然保護の推進	食品の安全性の確保	その他	わからない	特にない	無回答
男性	17.4	10.9	17.4	13.0	-	6.5	10.9	-	2.2	2.2	8.7
女性	15.8	8.4	7.4	13.7	4.2	5.3	9.5	2.1	2.1	-	10.5

[居住地区別 区への要望]

居住地区別でみると、練馬で「保育サービスや施設の整備」「犯罪のない社会づくり」「妊娠や出産の不安や悩みの相談窓口の整備」「子育ての不安や悩みの相談窓口の整備」の割合が高く、石神井、大泉で「子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置」の割合が高く、練馬、石神井で「道路や公園などの子どもが安心して暮らせる環境の整備」の割合が高く、大泉で「育児休暇や育児休業などの企業内制度の整備」の割合が高くなっています。

単位：%

	有効回答数(件)	予防接種や乳幼児健診などの母子保健の充実	保育サービスや施設の整備	妊娠や出産の不安や悩みの相談窓口の整備	子育てについて学ぶ機会を増やす	男女がともに子育てにかかわるための意識啓発	子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減	保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減	子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	育児休暇や育児休業などの企業内制度の整備	女性が就労しやすい環境の整備(職場の意識改革や協力など)	道路や公園などの子どもが安心して暮らせる環境の整備
練馬	37	27.0	64.9	21.6	13.5	8.1	56.8	48.6	29.7	16.2	8.1	24.3	24.3
光が丘	45	31.1	48.9	8.9	8.9	13.3	55.6	62.2	26.7	13.3	17.8	26.7	8.9
石神井	37	29.7	43.2	8.1	-	5.4	62.2	62.2	45.9	5.4	16.2	18.9	35.1
大泉	19	26.3	47.4	10.5	5.3	-	68.4	52.6	57.9	5.3	36.8	36.8	5.3

	子育て家庭の住宅の確保や家賃の補助	子どもの創造性や感性を伸ばす教育機会の普及	いじめや差別などをなくす教育の推進	犯罪のない社会づくり	地球温暖化やダイオキシンなどの環境問題に対する対策	水や緑などの自然保護の推進	食品の安全性の確保	その他	わからない	特にない	無回答
練馬	16.2	10.8	10.8	27.0	5.4	2.7	8.1	2.7	2.7	2.7	2.7
光が丘	15.6	13.3	11.1	6.7	2.2	-	11.1	2.2	2.2	-	13.3
石神井	16.2	8.1	8.1	8.1	2.7	8.1	13.5	-	-	-	16.2
大泉	21.1	-	10.5	10.5	-	21.1	-	-	5.3	-	5.3

問 22 最後に、子育ての環境や支援策等に関して、ご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

○子育てや結婚について（3件）

- ・結婚、出産、子育てによって女性が働けないようにならないようにしてほしい。妊婦さんは大事にしてあげてください。
- ・働くか子育てかどちらかを選択しなくてはならないような社会であってはならないと思います。

○子育て支援サービスについて（15件）

- ・近いうちに子どもを作る予定です。練馬区内で生活していくことは変わらないと思うので、より良い制度が充実し整備されると大変心強いです。是非がんばっていただきたいです。
- ・待機児童ゼロで保育所・幼稚園の費用の軽減。そして子どもが病気しても預かってくれるサービスがあると、共働き夫婦や育児ノイローゼになりやすい方は助かると思う。
- ・子どもを産んでも育てながら職場復帰できるような環境づくり（保育園、職場環境など）に力を入れてほしい。高齢になることに伴い子どもができにくくなること、不妊治療の現状などについて若い世代の人たちにもっと知識を得てもらえるような活動をして、若いうちに子どもを産むことについて考えられるようになると良いと思います（30代40代になって後悔しないために）。
- ・4月に限らず預けたいタイミングで預けられるように保育施設の設備。病児保育施設の設備。

○少子化に対する考え方（4件）

- ・「子どもはいてもいなくても良い」と考える家庭で、わが家のような状態であれば産まない選択をするほうが普通ではないかと思う。少子化を懸念するならば、もっと具体的な援助を。
- ・低所得世帯でも子どもが安心して産める社会保障が整っていれば、少子化が少しずつでも変化していくと思います。

○その他（行政サービスの要望等）（32件）

- ・不妊治療に対しての費用補助。（体外受精を受ける際の費用補助など）子どもがほしくてもできなくて悩んでいる方が周りに多いので。
- ・まだ子育てをしていないのでわかりませんが、練馬区も人口が多いので、子どもができて働き続けるため、保育園に必ず入れるよう充実してほしい。
- ・今後子どもを持ちたいと考えているのですが、周囲からは保育園・幼稚園に子どもを預けるうえでの負担だったり、女性（お母さん）が仕事をしたくてもできない現状だったりと不安に思う事はたくさんあります。今後さらに練馬区が子育てしやすい住みやすい環境になってくれたらと思います。
- ・どういった支援があるのかさえよくわからないので、もっとわかりやすく伝えてほしい。

- ・子育てになるべく不安を感じさせない様な環境を行政で行ってほしい。またそれを周知できるようなシステムがあればと思う。

○アンケートの感想（3件）

- ・このようなアンケートを頻繁に行い住民の意見を聞いてほしい。託児所をもっと増やしてほしい。子どもがほしくても不安なことが多くて前向きになれない。